

日本分子生物学会・第48回年会運営に ついてのアンケート 集計結果

回答者数: 600名

【スケジュール】

2025年12月4日 学会HPでWeb公開(運用開始)

*12月4日(年会会期2日目)より年会参加者用システム「Confit」等でアンケートサイトの周知。

12月11日 会員宛メール一斉配信にて回答協力依頼



12月25日(17時) 回答受付終了

アンケートの集計結果は、本年会の総括に用いるとともに、今後の年会運営の参考とさせていただきます。なお、自由記述欄のなかで個人または組織等が特定されるものに関しましては、掲載を控えさせていただきました。

ご協力ありがとうございました。







第48回年会組織委員会

質問1. 48回年会に参加されましたか

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	参加した	553	92.2%						
回答2	参加しなかった	47	7.8%						
	合計	600							














※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問2. あなたのポジションは

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	学部学生	25	4.2%						
回答2	大学院生	137	22.8%						
回答3	ポスドク等非常勤研究者	49	8.2%						
回答4	企業研究者	26	4.3%						
回答5	大学・研究所等の常勤研究者	334	55.7%						
回答6	その他	29	4.8%						
	合計	600							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問3. あなたの年齢は

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	19歳以下	3	0.5%						
回答2	20-24歳	79	13.2%						
回答3	25-29歳	78	13.0%						
回答4	30-34歳	49	8.2%						
回答5	35-39歳	33	5.5%						
回答6	40-44歳	68	11.3%						
回答7	45-49歳	70	11.7%						
回答8	50-54歳	85	14.2%						
回答9	55-59歳	61	10.2%						
回答10	60-64歳	50	8.3%						
回答11	65-69歳	11	1.8%						
回答12	70歳以上	7	1.2%						
回答13	回答しない	2	0.3%						
	合計	596							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4. ジェンダーについて

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	女性	206	34.3%						
回答2	男性	381	63.5%						
回答3	自分で記述する(Self-describe)	0	0.0%						
回答4	回答しない	9	1.5%						
	合計	596							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問5. 所属する学会について＜複数回答可＞

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	日本分子生物学会	567	94.5%						
回答2	日本生化学会	108	18.0%						
回答3	日本癌学会	66	11.0%						
回答4	日本神経科学学会	35	5.8%						
回答5	日本細胞生物学会	46	7.7%						
回答6	日本農芸化学会	39	6.5%						
回答7	日本発生生物学会	39	6.5%						
回答8	日本免疫学会	23	3.8%						
回答9	日本生物物理学会	17	2.8%						
回答10	日本遺伝学会	27	4.5%						
回答11	日本植物生理学会	15	2.5%						
回答12	その他	157	26.2%						
	合計	1,139							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問6. 指定シンポジウム(120分・10件)について<複数回答可>

※テーマ・セッション数・シンポジウムの長さ・海外からのシンポジストの数・講演言語(英語)など

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	よかった	478	79.7%						
回答2	適切でないと感じる点があった	49	8.2%						
回答3	その他	56	9.3%						
	合計	583							

※無回答は集計から外しています。

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問7. 公募シンポジウム(120分)・ミニシンポジウム(80分)(計152件)について<複数回答可>

※テーマ・セッション数・シンポジウムの長さ・海外からのシンポジストの数・講演言語(言語はセッションごとにオーガナイザーが指定)など

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	よかった	473	78.8%						
回答2	適切でないと感じる点があった	66	11.0%						
回答3	その他	75	12.5%						
	合計	614							

※無回答は集計から外しています。

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問8. 公募シンポジウムの企画応募条件に「指定演者のうち70%以上を特定のジェンダーとしない」が入っていたことについて<複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	賛同し支持する	249	41.5%						
回答2	理解はするが適切か疑問が残る	256	42.7%						
回答3	適切でないと思う	47	7.8%						
回答4	その他	64	10.7%						
	合計	616							

※無回答は集計から外しています。

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問9. ポスター発表について<複数回答可>

※時間の長さ(17:00~19:00の2時間)やポスター賞関連、その他全般

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	よかった	390	65.0%						
回答2	適切でないと感じる点があった	131	21.8%						
回答3	その他	150	25.0%						
	合計	671							

※無回答は集計から外しています。

※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問10. 各日のタイムテーブルについて<複数回答可>

※英語のシンポジウムを全日程に配置、シンポジウムの時間帯は常に日本語/英語セッションが並行
 ※多くの公募シンポジウムを採択するため、午前中シンポジウム(120分)に続けてミニシンポジウム(80分)を配置、ランチ
 枠プログラムは13時台に設定
 ※ポスター発表は夕方時間帯

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	よかった	420	70.0%						
回答2	よくなかった	97	16.2%						
回答3	その他	124	20.7%						
	合計	641							

※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問11. フォーラムについて<複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	参加して、よかった	183	30.5%						
回答2	参加して、不満が残った	11	1.8%						
回答3	参加しなかった	365	60.8%						
回答4	その他	23	3.8%						
	合計	582							

※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問12. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて<複数回答可>

※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索システム、アプリ

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	不便を感じなかった	394	65.7%						
回答2	不便を感じるがあった	149	24.8%						
回答3	その他	102	17.0%						
	合計	645							





※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問13. 年会プログラム集冊子(A5サイズ・厚さ1～2cmの詳細なもの)を作成しなかったことについて

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	不便を感じなかった	475	79.2%						
回答2	プログラム集冊子(詳細版)がないことに不便を感じた	85	14.2%						
	合計	560							





※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問14. 経費節減のため参加章・ポケットプログラム(日程表などのプログラム小冊子)の事前送付を行わなかったことについて<複数回答可>
※事前の参加登録者にはご自身での参加章印刷・持参を依頼、ネームホルダーやポケットプログラムは会場内の各所に設置、Confitアプリ導入

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	特に手間や不便さを感じなかった	409	68.2%						
回答2	年会参加費を抑えるためなら許容できる	183	30.5%						
回答3	年会参加費が多少上がっても事前に印刷・郵送してほしい	15	2.5%						
回答4	その他	37	6.2%						
	合計	644							





※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問15. AI同時通訳サービス「Sentio(旧ポケットforカンファレンス)」の利用について<複数回答可>
※メインホールのすべてのシンポジウムほか、指定シンポジウム会場を中心に試験的導入

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	利用して、よかった	53	8.8%						
回答2	利用して、不満が残った	44	7.3%						
回答3	利用しなかった	461	76.8%						
回答4	その他	54	9.0%						
	合計	612							

※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問16. マッチングイベント企画「このゆび、と一まれっ」(語りたいテーマの立案者と参加希望者とを結ぶ交流イベント)について<複数回答可>
※年会初日・2日目の夜(19:15~20:30)ポスター・展示会場等で(一部企画はランチョン時間帯に)開催

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	参加して、よかった	80	13.3%						
回答2	参加して、不満が残った	10	1.7%						
回答3	参加しなかった	466	77.7%						
回答4	その他	47	7.8%						
	合計	603							

※無回答は集計から外しています。
 ※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問17. 年会特別企画や学会企画について、良かったと思うものを選んでください＜複数回答可＞

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	AI同時通訳サービス「Sentio(旧ポケットークforカンファレンス)」	82	13.7%						
回答2	マッチングイベント企画「このゆび、とーまれっ」	109	18.2%						
回答3	ポスター賞(MBSJ Poster Award/ EMBO-MBSJ Poster Award)	176	29.3%						
回答4	EMBOとの連携プログラム(Poster Clinic by EMBO Press)	55	9.2%						
回答5	市民公開講座「未来の研究者集まれ！」(横浜市共催)	37	6.2%						
回答6	海外在住若手会員への旅費援助	79	13.2%						
回答7	キャリアパス委員会のランチタイムセミナー	89	14.8%						
回答8	研究倫理委員会のランチョンセミナー(AMED共催)	66	11.0%						
回答9	学会企画MBSJ Forum「著者からエディターへ:日本の科学を世界へ発信する橋渡しになろう」	24	4.0%						
回答10	高校生発表	151	25.2%						
回答11	学術誌Genes to Cellsカバーアート展示	98	16.3%						
回答12	福井県とのタイアップ企画: マッチングイベント企画参加者等への地酒試飲提供・販売	118	19.7%						
回答13	シニアサイエンティスト招聘企画(シニア会員にもポスター賞審査を依頼)	48	8.0%						
回答14	生物物理学会との連携(2025年に開催される双方の年会へ会員が相互に同資格で参加・発表可)	56	9.3%						
回答15	「#MBSJ2025」立体造形フォトスポット	85	14.2%						
回答16	特になし	103	17.2%						
	合計	1,376							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問18. 企業展示会等でよかったと思うものを選んでください<複数回答可>

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	企業展示のデジタルスタンプラリー	105	17.5%	<div></div>					
回答2	出展者セミナー	176	29.3%	<div></div>					
回答3	バイオテクノロジー・バイテクショート(ランチョン)セミナー	204	34.0%	<div></div>					
回答4	ナイトカフェセミナー	31	5.2%	<div></div>					
回答5	どれにも参加しなかった	142	23.7%	<div></div>					
回答6	特になし	79	13.2%	<div></div>					
	合計	737							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問19. 年会参加費について

※MBSJ2025の早期参加登録費：〔正会員13,000円、学生会員3,000円、非会員〔一般演題投稿なし〕22,000円、〔あり〕30,000円、学部学生0円〕

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	この年会の内容なら満足できる	232	38.7%	<div></div>					
回答2	この年会の内容なら許容できる	260	43.3%	<div></div>					
回答3	この年会の内容だと不満が残る	70	11.7%	<div></div>					
	合計	562							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問20. 分子生物学会では「学会・年会の国際化」を促進しています。そのために、100～200万円程度の予算を学会の特別予算として年会に用いるとしたら、どのような使途がよいと思いますか<複数回答可>

※MBSJ2025では年会予算約200万円＋学会の特別予算100万円でAI同時通訳サービスを試験的に導入

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	海外機関と連携して年会参加者向けの実用的な企画を行う費用	200	33.3%	<div></div>					
回答2	公募シンポジウム等で海外演者を招聘する際の旅費補助増額	218	36.3%	<div></div>					
回答3	海外在住の若手会員へ年会旅費を援助	161	26.8%	<div></div>					
回答4	講演セッションの通訳・字幕サービス等の言語サポート費用	168	28.0%	<div></div>					
回答5	その他	44	7.3%	<div></div>					
	合計	791							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問21. 本年会の開催形式（MBSJ2019福岡年会以来6年ぶりの完全オンサイト開催）について

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	よかった	395	65.8%						
回答2	課題はあるが、今回の形式を支持する	106	17.7%						
回答3	評価はするが、今後の年会は別の形式がよい	54	9.0%						
回答4	よくなかった	6	1.0%						
	合計	561							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問22. 今後の年会の開催形式について＜複数回答可＞

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	オンサイト開催を基本としたハイブリッド開催がよい（MBSJ2024福岡年会形式）	224	37.3%						
回答2	オンライン先行プログラム＋コンパクトな完全オンサイトの併用がよい（MBSJ2023神戸年会形式）	27	4.5%						
回答3	完全オンサイト開催がよい（MBSJ2025横浜年会形式）	325	54.2%						
回答4	完全オンライン開催がよい	11	1.8%						
回答5	その他	58	9.7%						
	合計	645							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問23. 今後の年会における他学会との連携について＜複数回答可＞

	項目	件数	割合	0%	20%	40%	60%	80%	100%
回答1	単独開催/他学会と連携企画/他学会との合同大会が、数年ごとにあるのがよい	311	51.8%						
回答2	他学会との連携企画を増やすのがよい	121	20.2%						
回答3	他学会との合同大会を増やすのがよい	112	18.7%						
回答4	ConBio2017の時のような、コンソーシアム形式の合同大会がよい	44	7.3%						
回答5	他学会との合同開催・連携企画の必要性をあまり感じない	112	18.7%						
回答6	その他	35	5.8%						
	合計	735							

※無回答は集計から外しています。
※割合は回答者数を母数にして算出しています

質問4. ジェンダーについて(自分で記述する)

回答者 番号	自分で記述する(Self-describe) 記述
	記述なし

質問5. 所属する学会について＜複数回答可＞（その他）

回答者 番号	その他記述
※	動物、進化、生態
※	発生生物学会
※	日本細胞外小胞学会
※	日本獣医学会、日本繁殖生物学会、日本下垂体研究会
※	転移学会、分子標的治療学会
※	日本薬学会、日本化学会、核酸医薬学会
※	日本薬剤学会、日本DDS学会
※	マリンバイオテクノロジー学会
※	肝細胞研究会、日本動物学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本進化学会、日本ゲノム微生物学会
※	日本解剖学会
※	日本再生医療学会
※	日本医学検査学会（日本臨床衛生検査技師会）日本血栓止血学会日本検査血液学会
※	日本生理学会
※	情報処理学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本筋学会
※	日本リウマチ学会
※	日本実験動物学会、日本神経精神薬理学会
※	日本RNA学会
※	アメリカ細胞生物学会（ASCB）
※	エピジェネティクス研究会
※	バイオインフォマティクス学会RNA学会
※	日本がん転移学会、日本がん分子標的治療学会
※	日本実験動物学会、日本骨代謝学会、日本筋学会
※	日本進化学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本公衆衛生学会
※	日本進化学会
※	日本動物学会、日本生物教育学会
※	日本実験動物学会
※	放射線技術学会、放射線影響学会
※	日本薬学会
※	酵母遺伝学フォーラム
※	解剖学会
※	日本生理学会
※	日本臨床ストレス応答学会
※	日本先天異常学会、日本骨代謝学会、日本軟骨代謝学会
※	日本血管生物医学学会、日本リンパ学会
※	日本内分泌学会
※	日本人類遺伝学会
※	日本RNA学会
※	日本薬理学会
※	日本時間生物学会日本蛋白質科学会
※	日本ゲノム編集学会
※	日本ゲノム編集学会
※	日本がん分子標的学会
※	日本生物工学会日本顕微鏡学会
※	日本実験動物学会
※	日本薬理学会
※	日本ウイルス学会、日本血液学会
※	日本栄養食糧学会 日本栄養改善学会
※	日本RNA学会
※	日本RNA学会
※	日本解剖学会
※	生殖医学会
※	日本プロテオーム学会
※	日本サイトメトリー学会日本抗体学会
※	日本内分泌学会、米国内分泌学会
※	染色体学会
※	小児科学会、公衆衛生学会、疫学会、国際保健医療学会
※	日本脂質生化学会
※	日本生理学会
※	日本骨代謝学会
※	日本薬学会、日本内分泌学会、日本ミトコンドリア学会
※	ウイルス学会

質問5. 所属する学会について＜複数回答可＞（その他）

回答者 番号	その他記述
※	日本ウイルス学会
※	日本糖尿病学会日本病態栄養学会日本機能性食品医学会
※	日本プロテオーム学会
※	日本生物工学会
※	日本ウイルス学会
※	日本動物学会
※	日本再生医療学会、日本腎臓学会、日本透析医学会、日本臨床薬理学会、日本生理学学会
※	再生医療学会
※	酵母遺伝学フォーラム
※	獣医学会
※	環境DNA学会
※	進化学会、メディカルAI学会
※	日本遺伝子細胞治療学会、日本核酸医薬学会、ASGCT、ESGCT
※	日本骨代謝学会、日本生理学会
※	日本科学哲学会、科学基礎論研究会
※	日本認知症学会
※	日本バイオインフォマティクス学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本循環器学会、日本獣医循環器学会、日本生理学会、日本獣医学会
※	結合組織学会
※	日本動物学会
※	日本ゲノム編集学会
※	育種学会、ゲノム編集学会
※	日本薬学会
※	日本病理学会
※	日本バイオインフォマティクス学会日本エピジェネティクス研究会
※	日本薬学会
※	日本薬学会
※	日本動物学会
※	日本RNA学会
※	日本人類遺伝学会
※	日本動物学会、肝細胞研究会
※	日本蛋白質科学会
※	蚕糸学会
※	日本分析化学会、生物工学会
※	臨床検査医学会
※	日本人類遺伝学会、エピジェネティクス研究会
※	日本栄養・食糧学会
※	進化学会
※	エピジェネティクス研究会
※	日本プロテオーム学会
※	日本糖質学会
※	日本生物工学会
※	日本抗加齢医学会
※	日本生理学学会
※	日本RNA学会
※	日本化学会
※	日本睡眠学会、分子科学会
※	サイトメトリ学会
※	日本基礎老化学会
※	日本薬学会、分子標的治療学会
※	日本薬理学会
※	日本薬学会
※	日本腎臓学会
※	日本血液学会、人工知能学会
※	日本糖質学会
※	日本薬学会日本基礎老化学会日本セルデス学会
※	日本植物学会
※	情報処理学会
※	日本神経化学会、米国化学会、日本バイオインフォマティクス学会
※	日本宇宙生物科学会
※	日本薬学会
※	日本栄養食糧学会
※	日本植物病理学会、日本植物バイオテクノロジー学会
※	日本神経化学会
※	バイオインフォマティクス学会
※	日本糖質学会

質問5. 所属する学会について＜複数回答可＞（その他）

回答者 番号	その他記述
※	日本エビジェネティクス研究会
※	医学教育学会認知症学会
※	Japan Plant-Pathogen Interaction Society
※	日本ウイルス学会
※	日本育種学会、日本ゲノム編集学会
※	日本植物学会
※	所属なし
※	日本RNA学会、日本バイオインフォマティクス学会、日本HTLV-1学会
※	日本生物工学会
※	日本糖質学会
※	日本実験動物学会
※	日本解剖学会
※	日本神経科学会
※	日本ウイルス学会
※	生物試料分析科学会、日本癌学会、日本臨床検査医学会、日本臨床化学会

質問6. 指定シンポジウム(120分・10件)について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	3	一件あたりの時間が短い
※	1/3	人気の高いセッションで、立ち見レベルの収容キャパオーバーのお部屋がたくさんありました。聴きたいセッションが多過ぎて、オンラインハイブリッドの開催をお願いしたいです。
※	3	指定シンポジウムには参加しなかった
※	3	あまり聞きたいと思えるシンポジウムがなかった。
※	2/3	日本語での発表セッションがかなり多かった上に、そこでAI同時通訳システムも使えないものばかりだったことは改善すべきだと思います。シンポジウムは全て英語で良いと思います。
※	2/3	テーマに偏りを感じた。
※	3	長い発表者をオーガナイザーが制御出来ていないのはよくないと感じた。シンポジウムの時間によっては次のシンポジウムにも響くのでオーガナイザーは制御できる人を呼ぶべき。会場によっては常に立ち見が出ているの会場もあり、会場の配分が適切であったのか疑問がある。多数の人が見てる時、後ろで座っているとしたの1/3が見えない。椅子を互い違いに並べるなどの工夫が必要と感じた。
※	3	参加していないので判らない。
※	3	他のシンポジウムと被っている
※	2/3	指定シンポジウム、もう少しお金をかけて海の外から超一流の研究者を呼んでください。
※	1/3	一つの演題の長さがちょうどよかった。
※	3	あまり参加しなかったの、コメントありません
※	3	なぜそれを指定シンポジウムとしたのか、開催の挨拶などで方向性を説明した方が良いと思います。縁故で人が集まる感じが良いと思えません。学会として、この分野を盛り上げたいとか、注目しているとか、この人の話を聞きたいとか。
※	3	参加していないので、わかりません。
※	1/3	興味のある講演も多く、違うシンポジウムの同じ時間で重なっており聞けなかったものも多々あった。学会会員には録画などをして学会後に聞ける工夫をしてもらえると嬉しい。
※	3	聞いていない
※	1/3	日本語口演が多めでいつも以上に議論が活発に行われているように感じました。
※	2/3	オーガナイザーの先生の最初の発表が時間おしたうえに、その後もご自身が質問することで時間がかかり、フロアの質問をさせないといったことがあって不満だった。オーガナイザーの先生の言い方も不適切だと感じた。
※	2/3	もう少し、一つのプレゼンを長くした方が説明し切れる気がした。特に、質問の時間がほぼ残っていないことが多いのは良くないと思った(発表者の問題でもあるが)。
※	3	参加していないので分からない
※	2/3	興味のあるシンポジウムがかぶっていることが多く、参加が難しいものがあった。
※	2/3	150分にすべきだと思うセッションがありました。ハイライトすべきセッションなので、長くお願いします。
※	3	都合によりあまり参加できませんでした。
※	2/3	発表時間および質疑応答が、予定時間を超過している公演が複数見られた。後ろの登壇者に蹴寄せが行っていた。オーガナイザーが時間管理の役目を果たしていなかった。
※	2/3	発表時間が長く感じた
※	2/3	長かった
※	3	講演言語を日本語か英語で固定しても良いのではないかと思います。どのシンポジウムも時間超過しているような気がしました。
※	2/3	セッション数が多すぎる。会場と参加者のミスマッチ、しかし予測は難しいかもしれないが。
※	2/3	同時進行のシンポジウムの数が多く、見たいが見られないものがあった。また会場によっては人が多すぎて入れないところがあった。
※	3	参加できていない
※	3	すみません、参加しておりません。
※	2/3	会場によっては立ち見を余儀なくされることが多く、また会場間の距離もそれなりにあるため昨年度のように中継や配信をしてもらえると良かった。
※	3	AI翻訳は理解しにくく、時には共有をオフにするとAI翻訳ができなくなり、外国の研究者に不便をもたらします。
※	3	参加していない
※	2/3	シンポジウムの分野の選択が難しいと思うのですが、寄せ集め的なシンポにならないように指定していただけたいと思いました。
※	2/3	無駄な英語でのシンポジウム開催。誰のためにやっているのか。
※	3	Talks within some themed sessions did not align well, AI translation was malfunctioning, most sessions and posters were in Japanese. I would imagine that a lot of foreign researchers working in Japan who attended the conference did not benefit from this conference.
※	1/3	今年は個人的に自分の研究テーマに近いセッションが多く、とても勉強になりました。シンポジウムの数も多く、分野も幅広く、3日間、とても充実し、勉強になりました。最近の年会で一番よかったと思います。
※	3	大学が旅費を出してくれず、行けなかった。それでいて、自費で行こうとすると、休みをとっても業務違反とされる。デスクに座っておかないといけなそう。矛盾。
※	3	日本の学会だから日本語でやって欲しい(海外の招待を除く)。研究者の英語推進、国際化は、別の形でやってほしい。ポスターも可能な限り、日本語で、と言うルールにして欲しい。(ちなみに私は米国でPh.D.を取得しています)
※	3	参加していない
※	3	参加してない興味があるのがなかった
※	2/3	盛況であり、会場からあぶれること、立ち見がほぼこの会場でもあった。これ以上大きな会場群を持つ施設は少ないと思いつつ、課題かと感じました。

質問6. 指定シンポジウム(120分・10件)について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	毎年のように同じようなヒトの同じような話が多かった。また、あっと驚くような興味深いテーマがなかった。
※	2/3	拝聴したいシンポジウムが複数個あったが、時間が被って行けなかったものがいくつかあった。生配信等の必要はないと思いますが、シンポジウムの様子を記録して何かしらのフォーマットでアーカイブが見れるようにしていたけると嬉しいです。
※	2/3	長めのシンポジウムが少なかったように思いました。
※	2/3	私が参加したセッションで多くの演者が時間を超過して話してお理、質疑応答の時間が十分に確保されないなど、聴衆目線では不満が残った。
※	2/3	英語のセッションと外国人演者が少ない(公募と企画の違いを確認してない)
※	3	翻訳サービスが使いづらかったけれど若干役に立った

質問7. 公募シンポジウム(120分)・ミニシンポジウム(80分)(計152件)について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3	音声は今ひとつの時があつた。部屋によっては暖房が強すぎて、顔をノートなどで煽いでいる人が何人かいるほどであった。
※	1/3	収容キャパが合っていない。広い部屋を用意して欲しい。オンラインハイブリッド開催を希望。
※	2/3	日本語での発表セッションがかなり多かった上に、そこでAI同時通訳システムも使えないものばかりだったことは改善すべきだと思います。シンポジウムは全て英語で良いと思います。
※	1/3	指定シンポジウムよりもためになった。同領域のミニシンポジウムが同日に集まっており、一部しか参加できなかったことが不満。同分野の話題は日程や時間を分けて開催してほしい。
※	2/3	数が多すぎると感じる
※	1/3	類似する内容のシンポジウムが並行している時間もあり、泣く泣くどちらかの発表を諦めたこともありました。一方で、今年の参加人数の多さを考えると、一部屋あたりの聴衆を分散するためにも仕方がなかったのかもしれないと感じます。
※	2/3	発表時間や質問時間はもう少し長くても良いのではないかと思います。また、各シンポジウムのセッションに10-20分など発表者とお話することが出来る機会があるのもいいと思います。
※	2/3	毎度のことだが、テーマによって会場に入りきれないほどの人が集まることがあった。会場に入れないため、視聴を断念したことが何回かあった。オンラインでの配信も検討してもらいたい。昨年の大会ではいくつかあったと記憶している。
※	2/3	シンポジウムの内容かと思うような演題も見受けられた
※	2/3	会場の広さ
※	1/3	ミニシンポジウムが、短時間で集中して聞くことができて非常によかったです。
※	2/3	同じようなテーマのものが重複していた→整理できるのでは？同じ時間帯に近い分野のものが重複→聞きにくいポスターからの採択は必要？
※	2/3	計152件は数が多すぎると感じました
※	2/3	特定の内容が多いように感じた
※	3	場所のスペースの都合があるのは仕方がないと思うが、会場の広さとして聴講者に対して明らかに狭かったりする部屋が多すぎた印象がある。会場の広さを確保するか室外でも確実に聴講可能なようにしてもらえると嬉しいと感じた
※	1/3	ミニシンポジウムに初めて参加させていただきましたが、とてもよかったです。講演長さはちょうどよく、大学院生を発表させるという取り組みもよかったですし、各演者が教育的・基本的な説明をするところから始めていくのも分野外の参加者にとっては勉強になりました。
※	3	あまり参加しなかったもので、コメントありません
※	3	シンポジウム間の休憩時間をあと5～10分くらい長くできませんか？シンポジウム後の直接の立ち話、挨拶など、を次に急かされることなくできれば、発表者と聴衆の双方に意義があると思います。
※	3	参加していないのでわかりません。
※	2/3	英語のシンポジウムが増えて海外の参加者が多くみられた一方で、日本語のシンポジウムが少なかったからか日本語のシンポジウムは人が殺到していた様に思えた。また質疑の時間が短いシンポジウムが多く
※	3	120分間は長く感じました。大学講義と同じ90分間が滞在しやすいと思います。満席で聴講を諦めたことが多々ありました。廊下に放映している分は聞けましたのでありがたかったです。
※	2/3	同じようなテーマで複数のシンポジウム・ミニシンポジウムがあったように思います。時間が被ったシンポジウムのうち泣く泣く参加できないものも多数あるため、同じようなテーマはまとめることができないかと思っています。
※	3	事前に各シンポジウムの参加人数を把握するのは難しいと思いますが、人数が多すぎて講演が聞けないことがあったので、講演が聞けるようにしていただけると良かったと思います。一部のセッションでは部屋の外でも講演が聞けるようにされていたので、今後も続けていただければと思います。
※	1/3	今回ミニシンポジウムに採択していただき、初めてオーガナイザーをつとめた。大変いい経験になった。来年もシンポジウムに応募したい。一方で、(会場は盛り上がっていると感じたが)セッションごとのアンケートがあってもいいのかなと思った。次年度以降の参考にするために。
※	1/3	聴衆が多すぎて会場に入れないことがあった
※	2/3	シンポジウムが多すぎて、同じような内容のものが複数あり、しかもそれが同じ時間帯になっていた。もっと少なくて良いと思う。
※	3	同時並行で行うセッションがとても多く、似たようなトピックのセッションが同じ時間で重なっていたりもしたため、参加したいセッションを諦めなければいけないことが多かった。
※	3	なるべく多くの申請を受け入れたい状況は理解しますが、内容が重複しているものが多い。
※	1/3	タイトル上は前年よりもテーマの近いシンポジウムが減っていたように感じた。テーマ設定がファジーなものもあったが、分子生物学会のように大きい(カバーする分野の広い)年会は、それくらいの「ゆるい」設定の方が創造的でよいと思う。実際に、新しいつながりができた。「かたい」縛りが好ましいという方もおられると思うが、そのニーズは研究会や特化した学会で満たされるものであると考える。
※	2/3	少ない公募枠に、オーガナイザーの研究室の所属学生が複数含まれるなど、恣意的な演題選出を感じるセッションがあった(もちろん、公募内容にマッチする研究テーマだとは思いますが、プレリミナリーな内容だったため)。
※	3	中国から演者が日中関係の悪化を理由に講演取り消しをしていた。政治と科学は別である。webでいいので参加してほしいし、オーガナイザーはそういう演者を選択すべきである。
※	2/3	会場が狭くて中で聴くことができませんでした。
※	3	参加していないので分からない
※	2/3	時間が短く、どのセッションも延長していました。8時から始めてたっぷり時間をとった方が良いのではないのでしょうか。
※	3	都合によりあまり参加できませんでした。

質問7. 公募シンポジウム(120分)・ミニシンポジウム(80分)(計152件)について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	発表時間および質疑応答が、予定時間を超過している公演が複数見られた。後ろの登壇者に蹴寄せが行っていた。オーガナイザーが時間管理の役目を果たしていなかった。
※	2/3	発表時間が長く感じた
※	2/3	120分は長い
※	2/3	分野の近いシンポジウムが同じ時間帯に入っており、興味のあるシンポジウムに全て参加することができなかったため。
※	3	講演言語を日本語か英語で固定しても良いのではないかと思います。どのシンポジウムも時間超過しているような気がしました。
※	2/3	部屋が狭く、溢れているところがあった。似たようなテーマが同一時間帯に進行していたため、関連テーマ演題を聞きに行けないことがあった(これは是非改善してほしいです)。
※	2/3	同時進行のシンポジウムの数が多く、見たいが見られないものがあった。また会場によっては人が多すぎて入れないところがあった。
※	3	参加できていない
※	2/3	ミニシンポジウムでなく、通常のシンポジウム2枠にすればよい
※	3	参加していない
※	3	公募シンポは応募すべて採択すべき方針は良いと思います。ただ、とても数が多くて似たようなセッションがあり、参加者人数も混んでいるところと空いているところなどまちまちで、なかなか難しいとも思いました。参加する側としては日時的に分散している場合は参加日が長くなり、集中しているときは気忙しく動く必要がありました。
※	3	たくさん採択していただきよかった。どの時間帯にも興味のあるシンポジウムがあったし、この形式なら今後も申請しようと思った。80分なのにたくさん詰め込んでいたところは少し短いと感じた。また、時間を守らない人たちがいて次の設営に響いたので時間を守ること(超過すぎるならスタッフの方で止めてほしい)と終了後はすぐ退室することを徹底して欲しかった。
※	2/3	無駄な英語でのシンポジウム開催。誰のためにやっているのか。
※	2/3	いくつかのシンポジウムで、会場に入りきれないほど人が集まっていたため入ることができず、講演を聞くことができませんでした。次回以降改善してほしいと思います。
※	2/3	同じ分野のシンポジウムが同じ時間に重なっており、聞けない講演が多くあった。日をずらす配慮が必要であった。
※	1/3	シンポジウムは多い方が良いので、全て90分などでも結構ですので多く設定していただきたいです。
※	2/3	入れないセミナー(老化関連など)は外でモニターで見れるようにしてほしい。
※	3	行けなかった
※	3	参加していない
※	2/3	英語のミニシンポジウムセッションでは日本語で質疑応答などを行っていたので、不適切だと思いました。
※	2/3	似た分野のシンポジウムが同じ時間帯に設定されていたので、聞きたい演題の片方を選ばなければならないケースが複数回ありました。
※	2/3	毎年思うのが、明らかに座席が足りていないと思われる部屋が多いことだ。せめて、廊下側にモニターを備え付けて外からでも見られる様にするとか、いい加減対策をお願いしたい。
※	2/3	基礎研究分野が少なかったと感じた。
※	2/3	ちょっと長かったかな
※	2/3	盛況であり、会場からあふれること、立ち見がほぼこの会場でもあった。これ以上大きな会場群を持つ施設は少ないと思いつつ、課題かと感じました。
※	2/3	毎年のように同じようなヒトの同じような話が多かった。また、あっと驚くような興味深いテーマがなかった。
※	1/3	内容は良かったが、部屋の大小が聴衆者の数に合っていないケースが散見された。同じ類のシンポジウムは近い部屋にして欲しい。
※	2/3	セッション数が多すぎると思います。タイトルは面白そうだが実際に参加してみると研究の完成度が低いものが散見されました。また、ほとんど同じ内容で複数のセッションでの発表もありました。そういったものを排除してセッション数を減らす必要があると思います。
※	2/3	テーマの偏りが見られる。
※	2/3	時間オーバーしているのに写真撮影とかして、次のセッションの開始時間が遅れた会場があった。
※	2/3	疾患(特に精神神経疾患)の分子病態を議論するセッションがほとんどなかった。
※	2/3	会場が狭い。Wi-Fiが弱い。
※	2/3	英語のセッションと外国人演者が少ない(公募と企画の違いを確認してない)
※	3	翻訳サービスをもっと使いやすくしてほしい

質問8. 公募シンポジウムの企画応募条件に「指定演者のうち70%以上を特定のジェンダーとしない」が入っていたことについて＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.賛同し支持する

2.理解はするが適切か疑問が残る

3.適切でないと思う

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	4	知らなかった
※	3/4	特に指定しなくて良い
※	4	意図がよくわからない
※	3/4	ジェンダーに関係なく、良い演題を選ぶことを優先していただきたいです。
※	2/4	シンポジウムを開催するときに、かなり特殊な分野だとこの指定は毎年厳しいです。どうしても男性が多く、女性は分野的に少ないかいないです。そのため、学部生レベルやまだ始めたばかりの研究を無理やり話してもらう形になる。70%ではなく、特定のジェンダーに偏らず、必ず1人は別のジェンダーを入れるなどに緩和できないでしょうか？
※	2/4	LGBTQに対する配慮をどうするのが曖昧な状態でこのような条件設定を行っても、単にポーズだけに過ぎない印象を受けました。
※	2/4	ジェンダーの偏りを是正するためには、ある程度強制的に比率を整える必要があるのは理解できます。ただそうすると、少数派のジェンダー(この場合は女性ですね)があちこちに駆り出され、負担が大きくなるのではと懸念されます。女性研究者が増えてそのような心配をせずに済むようになってほしいと思っていますが、そうなるまでは先駆者として今の女性研究者が苦勞しなくてははいけないんですかね。。。
※	3/4	そのような条件があったことを知らなかった。
※	2/4	公演者の選定が難しくなる
※	2/4	70%は分野やセッションによっては厳しすぎるのでは。5人の演者のセッションだと2人が女性でないといけなくなり、60%にしないといけなくなります。現実的に分野の男女数が均等ではないということを加味すれば、80%程度が妥当でないかと思います。
※	2/4	100%でも良いと思う。ジェンダーの割合を決めること自体が疑問です。
※	2/4	あえて指定する必要があるのか疑問
※	2/4	分野の研究者の性別比が偏っている場合、条件を満たすのが困難な分野があるかもしれません。
※	4	研究発表の内容で決められるべきだと考えています。
※	4	気付いていませんでした。
※	4	特に気にしていない。
※	3/4	公募内容が研究者の研究内容と関連していれば、ジェンダーは特に指定しなくてもいいと思います。
※	2/4	母集団としてジェンダー比率の観点から、正直難しいと思う。同じ方に毎年声がかかるだけではないか。
※	4	i do not know about this
※	2/4	その取り決め自体が差別的であると思う。そもそも意識的に特定のジェンダーを選ぶ必要がないので、自然体でよいと考える。
※	2/4	例外規定を設けても良いのかもしれない。特に、ミニシンポジウムの場合は演者数が少ないため、演者の選定にジェンダー要件が加わると、シンポジウムのテーマとの合致度を妥協せざるを得なくなると思う。ミニシンポジウムについては、「合理的説明が可能な場合は80%以上に制限を緩める」としても良いように思う。
※	3/4	多すぎる
※	3/4	科学にジェンダーは関係ないと思うので、「70%以上を特定のジェンダーとしない」というような制約は不適切だと思う。
※	1/4	いまはまだそういう文言が必要なのかもしれない
※	3/4	採択の可否は発表する成果によって平等に判断されるべき。
※	3/4	「%」ではなく「1名以上」くらいがいい塩梅では。
※	1/4	指定しなくても自然にそうなるのが理想だと思いましたが、現状は数値目標を書いてもらった方が配慮があると思います。
※	3/4	演者の性別によって科学の質が変わるわけではないので不要な基準である。
※	2/4	多くの学会でこの規定があるが、特定の研究者に負担がかかっていないか心配。
※	3/4	そもそも学生や研究者のジェンダー比が同じでないので、数値の設定を考えるべき。
※	2/4	性別関係なくシンポジウムに適した人物に講演いただくのが理想だとは思いますが。
※	1/4	女性研究者を増やす社会を作るのが先
※	2/4	もはやジェンダーを気にする時代ではなくなったのではないかと思います。
※	3/4	10題にも満たないので偏ることはあると思うから
※	4	参加できていない
※	2/4	理解しますが、特に演者が少ない場合に容易に違反する可能性が出てくるので、演者が少ない場合に閾値を引き上げる等の工夫は必要かと思いました。
※	4	そのような条件があるとは知らなかった
※	4	どうでもいい
※	2/4	そもそも女性の研究者人口が少ないため、演者の確保が難しい面があるように思います。私自身女性なのですが、どこも女性演者が不足しているようで、毎年講演のお誘いがある(それ自体は非常にありがたいことですが)ため、実力関係なく講演するのはどうなんだろうかと考えさせられます…。数値をもう少し緩めに設定しても良いのではないかと思います。
※	2/4	実力で選ぶべきである。
※	4	全てのジェンダーが差別なく応募できているのであれば、すでに「機会の平等」は確保されている。あえて「70%以上を特定のジェンダーとしない」などという、「結果の平等」を強要することは、企画の内容よりもジェンダーを優先するということになる。これをおかしいとは思わないのか？
※	4	べつにどちらでもよい
※	3/4	分野ごとにジェンダーが偏っている可能性を考慮していない。
※	4	あまり気にしない
※	2/4	サイエンスの質を最優先にしてほしい。

質問8. 公募シンポジウムの企画応募条件に「指定演者のうち70%以上を特定のジェンダーとしない」が入っていたことについて＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.賛同し支持する

2.理解はするが適切か疑問が残る

3.適切でないと思う

4.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3/4	学会は研究について議論をする場と考えています。ジェンダーが重要なのは理解できますが、これがあまりに前面に出過ぎることは適切ではないと思います。素晴らしい研究者が集まったシンポジウムでも男性ばかりだからという理由で採択されないのであれば、学術集会として適切ではないと思います。また、女性が必要だから研究内容はさておき、誰でも良いからお願いできる人をお願いするという場面も生じかねません。選ばれた女性も研究が素晴らしいからお声がけ頂いたのか、単に女性だからお声がけ頂きたいのは分からず立ち位置が難しいです。学会は研究について議論をする場という原点を第一に企画していただければと思います。
※	3/4	純粋にいい発表がみたい。ジェンダーを考えるのは別の形でやって欲しい。
※	1/4	主旨が守られていることが当然だと思っていた
※	2/4	特定の女性研究者に依頼が殺到し、講演者選考を圧迫している。もう少しフレキシブルにしてもらえるとありがたいです。
※	2/4	経験を積ませるという意味ではある程度仕方が無いこととは理解できるが、それでも明らかに発表慣れしていない女性が散見された。スライド上の研究内容は立派なのに、声が小さく、たどたどしいので理解があまり進まない残念なものも有った。この様な拙速な方策でなくとも、地道でも、地方会や分科会、他学会との連携イベント等を考えて、女性の経験値を積ませる小規模イベントの数から増やして行く方が、長期的視野では真のジェンダー問題対策になろうと思われる。
※	2/4	理解はできるが、内容によってはどうしても難しい場合があると思う。
※	2/4	オーガナイザーを務めました。企画応募条件が公開されるより前から、心当たりの方に発表をお願いする打診をしていました。そのうえで、この基準を知り、クリアするために講演者を追加で慌てて探しました。事前にわかっているとありがたいです。学会で、毎年恒例のルールとして、大々的にアナウンスしてはいかがでしょうか。
※	3/4	適当な候補者のジェンダーが偏っていたらどうするのでしょうか。質を担保する方が重要と思います。
※	4	知りませんでした。覚えておきます。
※	3/4	ジェンダーに関する指定を入れるべきではない
※	2/4	このレギュレーションがあることで、研究室間などで異なるジェンダーとの交流が盛んになるといいと感じました。しばらくはこのレギュレーションによって参加が難しかったり、構成に悩んだりすることがあることは想定されます。
※	3/4	科学にジェンダーは関係ない
※	2/4	研究領域によってはジェンダーが偏っている場合があるので、シンポジウムを企画できなかったり、数少ないジェンダー研究者に負担がかかったりするの、本末転倒だと思います。
※	4	学問の世界は性別を気にする必要はないと思っています。内容で選ぶべきだと。どうしても理系は男性が多いので、男尊女卑とか言われがちですが、ジェンダーを気にしすぎた目線で審査されても、そちらの方が、同じ土俵で努力している研究者に失礼だと思います。あえて採択する側の方々には要旨のみなどの内容だけわかる状態(所属くらいは分かってもいいかもしれませんが)で審査していただき、採択後に名前性別等が公表される、というのがフェアではないでしょうか。
※	2/4	発表内容がシンポジウムとそぐわないのであればジェンダーを気にする必要なく、内容で演題を選定すべきである。
※	2/4	もともと少ない女性をなんで優先したがるのでしょうか？

質問9. ポスター発表について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3	同じようなトピックが1日に偏っているのではないかと思った。自分の興味のあるポスターが聞けなかった。
※	1/3	ポスターの時間帯が遅い。五時に終わる位がよい。
※	3	時間を守らないで発表している講演者や、関係ない話を大声でしている人などは、発表の邪魔なので主催者側が注意すべき。
※	3	どの領域のポスター7日の表示がなく、検索だけでは出会えない演題に出会えない。
※	2/3	最終日の17-19時は、遠方から来ている人は参加が大変で、見たいけど帰らなければいけないという人が多く見受けられた。
※	1/3	時間帯が遅い
※	3	時間帯が遅かった(15:00-17:00の方が良い)ポスターの並びが分野別になっていなかったの、見たい分野のポスターを探すのに苦労した
※	2/3	発表時間の長さは良かったが、開始時間と終了時間が遅かった。以前のように15時くらい開始が良かったのではないだろうか。ポスター賞は結局どうなったのでしょうか？
※	2/3	個人の確認不足ではあるが、プログラムのタイムテーブルにポスター番号の偶奇で討論時間が異なっていることを明記してほしかった。
※	2/3	多すぎる
※	2/3	開始時間が遅すぎませんか？
※	2/3	開始・終了が遅すぎと思います。遠方に帰れません。また、冬なので、寒いです。1時間は早くできないでしょうか。
※	2/3	ポスター発表数が極めて多数に上るのに、プログラムテーブルや要旨集でカテゴリ分類を見つけられなかったの、どのポスター番号を中心に聞きに行けば良いのか決められず不便でした。
※	3	口頭セッションが終わった後の遅い時間にも関わらず多くの参加者があり、良かったと思う。
※	1/3	2時間の時間設定は適切だと思うが、もう少し早い時間帯でもよかったのではないかな。
※	1/3	最終日の終了時刻が遅かったの、参加者が減少したように感じた。
※	1/3	ポスター賞の発表は当日行って欲しい
※	2/3	発表時間が短すぎる。会場で発表開始(奇数番号など)のアナウンスがない(以前はあった)。全体にポスターに配分している時間が少ない。
※	2/3	発表時間帯が遅すぎる
※	2/3	ポスター発表はランチの後に行う方がよいと思う。予算や業務の関係で宿泊できず遠方から参加される発表者や参加者にとって密なdiscussionができるポスター参加の機会を奪うことは学会のactivityを低下させる恐れがある。口頭発表であるシンポジウムももちろん重要ではあるが、内容などによっては全ての参加者に重要とは限らないがポスター発表は全ての参加者に重要なコンテンツであり、学術学会であれば、そうあって欲しい。
※	2/3	時間が遅すぎると思います。前回までの時間の方が良かったです
※	2/3	ポスター審査を行いました。自分なりに誠心誠意努めたつもりですが、会期・会場全体を通したら多くの分野に渡る膨大な数のポスターがある中で、一握りのポスターだけを見た私の判断結果が、ポスター賞という少数の栄誉の行く先を大きく左右するという事実、良心がうずきました。そもそも分子生物学会でポスター賞を設けることの是非が議論されることを望みます。
※	2/3	スペースが狭くて通行できない
※	3	説明の時間が遅すぎる
※	3	最終日の当該時間帯の場合、遠距離から参加された方が当日に帰るためには、当該時間まで残ることは難しい状況となり、最終日のポスター発表に参加できない方がいると思います。ポスター発表への参加者が少ないと、ポスター発表者も自身の研究成果をアピールする機会が減るので、その点は、他の日程のポスター発表者と比較すると、最終日のポスター発表者は不利な感じを受けました。
※	2/3	時間帯が遅すぎる。16時～18時で十分である。
※	2/3	早めの時間帯に実施すべき
※	3	ポスター発表の指定された時間では発表を聞くことができなかった。個人的に指定された時間外に発表内容をきかせてもらった。久しぶりに現地開催の年会に参加したが、ポスター発表の件数が少ないと感じた。
※	3	掲示されていないポスターが以前よりも多いと感じた。質疑応答時間にいない発表者が以前よりも多いと感じた。
※	3	18時までで終了するのがよい。通いで距離があるため、体がきつい。
※	2/3	最終日のポスター発表は少し時間を早めにして頂けると嬉しいです。
※	3	やはり18:00以降は遅い。多くの参加者が会場から立ち去っている感じであった。
※	3	ポスター賞の結果はどうなったのですか？少なくとも、いつ・誰あてに発表されるのか(受賞者にのみ連絡か、Webで公開するのか)を会期中に示されるのがよいと思います。昨年度は、毎日発表されていたと思います。ポスターの時間帯が17-19時というのは良くなかったと思います。特に3日目は明らかに人が少なかったです。
※	3	ポスターの前でぼーっと立っているだけがかわいそうに感じます。やはりディスカッサーを入れて、少なくとも喋る機会を与えてみるのが良いのではないのでしょうか。あの待ち時間が嫌で、ポスターやりたくないという人が多いです。
※	3	討論の時間が遅く、朝早くから参加していると疲れた。
※	3	18時30分ごろに終了するのがいいのかなと思います。
※	3	参加できなかった
※	3	学会後の研究者仲間との交流会を考えると、19時より前に終わった方が時間的に良かったが、遅すぎることはない。
※	2/3	時間帯が遅いと感じた。またポスターを見ないで飲みに行っちゃう参加者も多く、ブース周辺に多くの参加者を誘導する機会が少なくなり、スポンサーへの配慮不足にならないか心配に思った。
※	2/3	ポスター発表は昼休憩頃にしたい方が、遠方から来ている学生にとっては負担が少ないのではないかな？

質問9. ポスター発表について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	1/3	EMBOクリニック対象として事前選抜された時点で、その他一般のポスターより高位であることを示す一定の表彰があった方がよいと思う。クリニックでEMBO賞やMBSJ賞を受賞できなかった場合には、一般のポスター受賞者の方が一見高位に位置付けられるのが改善点か。選抜・評価法を鑑みるとEMBOクリニック対象ポスターの方が高位に評価されて然るべきかと。
※	2/3	夜遅くなので後半は帰る人が多かった。1時間程度早くしてほしい
※	3	時間が遅いことで、とくに3日目の来客が少なかったように思います。3日目は昼頃にするとよいのかも。3日目にポスターを観てから帰ろうとなります。
※	2/3	ポスター審査用に関覧可能であったファイルに、別の方が記入したと思われる評価に関する事項が記入されていた。
※	3	2時間という長さにはこだわりませんが、発表する時間帯が遅いのではないかと思います(働き方改革という点では19時までではやりすぎではと思いました)。
※	2/3	開催時間が遅く、疲弊した。
※	2/3	夕方だと翌日に疲れが残る
※	2/3	時間が遅い。家庭のことを考えると参加しにくかった。
※	3	3日目の最後のポスターセッションは、参加者が少ないように感じました。最終日はもう少し早めでもいいように感じました。
※	1/3	開始時間が遅く、時間がタイト。ポスター発表は口頭発表の下位にあるのもではなく(口頭発表の方が華やか？に見えるが)、素晴らしい研究も多く、1対1の討論ができ情報交換がしやすい。もう少し、じっくりと議論できる時間(環境)があるとよい。
※	2/3	ポスターの数が多く、ディスカッションの時間がもう少しあると良いと思った
※	2/3	19時までには遅いと感じた
※	2/3	ポスター賞対象演題が指定時間になっても掲示されておらず、自身の都合と合わない点が不満であった。
※	2/3	3日目のポスター発表の時間が17:00～19:00となると、最後まで残れず帰路に着かないといけな参加者も多く、1,2日目と比べると活発な議論を行えなかった発表者も出てしまうのではないだろうか。
※	2/3	時間帯が遅かったので参加が困難な日があった。都内からの参加には厳しい。ポスター発表が一番演題も多く大事なイベントだと思うので、昼間に持ってきた方がよい。
※	2/3	最終日の一番最後は基本的に残念だと思いました。
※	2/3	夜はきつかったです
※	2/3	時間が遅い
※	3	もう少し早い時間にしてほしいです！
※	3	なぜこの時間帯に変更したのか教えてほしい。例年通り、昼の後の方が演者としてはありがたい。
※	2/3	偶数であったため18時からの発表でした。17時台に比べると人がまばらで(飲み会に行ってしまったか)、ポスター発表を聞きに来る人が少なかったので寂しかったです。もう少し早い時間を希望します。
※	2/3	長い。終わりが遅くてその日に帰れなかった。
※	2/3	もう少し早めの時間設定のほうが良いです。
※	2/3	遅い時間のため、最終日は人が少なかった
※	2/3	時間が短く、開催時間が遅かった(大きな学会なので仕方ないが...)。ポスター賞の案内がよくわからない。当日に結果が出ない場合は、いつ受賞者が発表されるのかをアナウンスするべきだと思う。例年は当日発表されて複数人受賞していた印象だが、今年は違うのか？と感じた。MBSJ Poster Award/ EMBO-MBSJ Poster Awardの違いなどがよくわからない。
※	1/3	ポスターの張り出し時間が半数以上守られていないので、何らかの対策をとるべき。
※	1/3	ポスター発表は夕方～夜ではなく、ランチョンセミナーが終わってすぐの方がありがたい。例えば、14:00から16:00など。少なくとも、最終日のポスター発表は14:00から16:00などにしてほしい。
※	2/3	最終日のポスター発表は、参加人数がとて少なかった。もう少し早い時間帯にしてほしい。
※	2/3	最終日の偶数番の発表時間が遅かったため、遠方に帰宅するのが困難だった。
※	3	長さは良いが時間が遅くて地方に帰りにくい。
※	2/3	ポスターの動線がブース展示から隔離されている感じはあった。
※	2/3	奇数偶数よりもっと細かく時間を分けて良いと思いました。と言いますのも、自分が発表者だと、他の演者の発表を見にいけなからです。
※	2/3	19時終了は遅すぎませんか
※	3	ポスドク(卒後3年までとか)までポスター賞あっても良いと思う
※	3	17:00～18:00くらいに終わってくれるも次の日楽です
※	3	出来れば16:00-18:00辺りにしてほしい。子育て中の場合、夜ご飯が遅くなってしまうので。
※	2/3	時間が遅いポスターの
※	2/3	やや開催時間が遅く、飲み会に出ていってしまっている研究者がそれなりにいるのが気になった。
※	2/3	19時終了は少し遅い。
※	2/3	時間外に発表している人(奇数番号なのに偶数番号の時間帯に発表している人)や、関係ない話を大声でしている人を、主催者が注意するべき。発表が聞こえない。
※	3	議論の時間が足りなかった。もっと長くしてほしい。
※	1/3	長さは悪くないが、設定した時間帯が適切かは疑問
※	3	発表時間を早めて欲しいです。
※	2/3	時間帯が遅すぎる
※	3	19:00終了は遅すぎると思った。遠方から来ていてその日に帰らなければならない方など、最後まで十分に参加できないのではないかと感じた。
※	3	時間が遅いと感じた。

質問9. ポスター発表について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3	最終日の最後のポスター発表の時間が遅く、帰らざるを得ない、あるいは発表があるのでその日は帰れないなどの不都合が起きた懸念がある。最終日くらいは配慮があってもいいのではないかと感じた。
※	1/2/3	昼食を食べた後、発表時間まで時間があつたので、13時～17時の間でポスターに興味を持っていた方1人1人にゆっくり内容を説明することができたのでよかった。しかし、17時以降に聞きにくる方は少々疲れた様子だったので、後半(18時～19時)の人は発表のし甲斐が減ってしまうのではないかと感じた。
※	2/3	ポスターについては最終日の後半の時間に参加者の多くが帰る様子が見られ、同じポスター発表でも日時によって議論の有無に違いが大きく見られた。自身で参加日程を選べるとありがたい。
※	2/3	ポスター発表の時間が遅かった。もう少し早めの時間が良かった。
※	2/3	開催時間が遅い。最終日で夕方からというのは今後はなくしていただきたいです
※	2/3	時間設定が17-19時は子持ちの母には優しくないで絶対に改善してもらいたい。自分が発表する日は何とか時間を捻出したが、それ以外の日はポスター発表は聴講できなかった。
※	2/3	ポスター発表が一時間取ってある点は評価できるが、最終日の19時までの発表は次回からは本当にやめて欲しい。参加している人は周辺地域の人ばかりではありません。飛行機を利用している人のことが全く考慮されていないことに、憤りさえ覚えました。最後まで議論したくても、最後まで参加したら帰れなくなる人や、発表者に至ってはポスター最終日の後半に発表になった人は金曜日も宿泊を取らないといけなくなった人もいるのでは？最終日のみはポスター発表は昼一の時間に設定して、最終日の学会終了時間は17時にすべき。
※	3	日程最終日17:00～19:00だと、遠方に帰ることができない
※	2/3	開始時間が遅い気がします
※	2/3	演題数が900以上あったので3時間でもよかったかもしれない。ポスター賞は閉会后5日後くらいまでには公表してほしい。
※	2/3	数が多いこともあり、少し短く感じましたが、掲示されている時間は長かったので自由に見れてよかったです。
※	2/3	あと1時間ほどポスターセッションを延長していただければ、より多くの発表者、参加者とディスカッションできるように感じました。
※	2/3	ポスターの時間帯が遅すぎる気がする。
※	1/3	時間が遅いのでどうにかならないだろうか。せめて最終日
※	3	ポスター時間が夜は良くない。昼間希望、今まで通り14時～17時ぐらいが良い
※	3	終了が19時なのは通う身としては遅い。18時にしてほしい
※	3	開始時間が遅かった。
※	2/3	同じ時間帯のポスターを回れない。換気設備の不足。
※	2/3	例年の年会ではポスター賞の発表が翌日または数日以内であることが多かったが、今年は一週間近く関連情報が無く、適切でないと感じた。審査に時間をかけるのは理解できるが、「〇月〇日までに発表する」などの情報ぐらいいはあった方がいいと感じた。
※	3	今回、漠然とですが、ポスターが少ないように感じました。
※	2/3	開始時間が遅い。
※	2/3	ポスター賞の発表が遅い
※	2/3	ポスター発表時間に演者がポスター前にいない例が多々認められました。本学会では、必ずしも発表時間内にポスター前に立つことが義務付けられているわけではないようですが、興味を持ったポスターに対して質問する機会が与えられないという状況に良い印象は持ちませんでした。他の多くの学会が採用しているように、定められた時間内は演者にポスター前での発表を義務付けた方がよいと思いました。
※	2/3	ポスター賞の審査を行ったが、あまり専門でない分野の担当となったため適切に評価できたか自信がない。
※	2/3	時間が遅い
※	2/3	最終日は遠方の方は19時まで会場にすることが困難です。例えば、最終日は全体的にもう少し前倒しにするなどの工夫をいただければと思いました。
※	2/3	ここ最近の年会では、ポスター発表を午後の早い時間帯にして、一方で午後の口頭発表は遅い時間帯にすることで、参加者を夕方まで場内に止める工夫をしたと思ってました。それにより展示場も賑わい、出展下さる企業さんにも好評だと理解してました。それが今回変更になった理由は何でしたでしょうか。企業さんの出展は年会開催の生命線だったはず。企業さんの支持が頂けなければ、年会の継続が危ぶまれます。
※	2/3	討論の時間帯が遅い
※	3	本当によくない。特に最終日。遠くからくる人に余計な出費を強要している。非常識。お金のある人の発想。
※	1/3	時間帯がもう少し早めの方がより適切ではないかと思った
※	3	参加していない
※	2/3	分野の案内があるとより分かりやすく移動ができたのではないかと感じた。
※	1/2/3	他のプログラムと分けられていたので、ポスターに集中できた良い面があったと思います。一方で19時だと他の研究者との打ち合わせに制限がかかったり、ポスター撤収が15分しかないので、話し合いを中断する場面がありました。
※	2/3	2時間という長さは、十分な質疑応答や各企業ブースとの話し合いにも余裕が有ったので問題は無い。ただ、開始時刻が遅過ぎる。明らかに日を追うごとに遅い時間ほど人が減っており、おそらく初学会と思われる若い研究者がつまんなく立ち尽くす時間が増えていた。地方から来ている研究者たちが、新横浜に何時に飛び込まなければ帰る事が出来ないかを考えれば、この時刻設定は有り得ない。
※	2/3	開始時間が遅く感じた。午後の時間帯にポスターを行い、その後にシンポジウムなどを行う方が良い気がする。
※	2/3	ちょっと時間が遅すぎる
※	2/3	もう少し早い時間(ランチョンセミナーを間に入れて午前(12時～13時)と午後(14時～15時)位)だと良かったです。
※	2/3	英語での発表が少なかったことや英語でのポスター作成が必須ではなかったために、海外からの参加者にとってストレスになっていた可能性がある。

質問9. ポスター発表について＜複数回答可＞(その他)

【回答項目】

1.よかった 2.適切でないと感じる点があった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	17:00～19:00は時間が遅すぎる。関東圏以外の参加者・発表者の事が考慮されていない。特に地方の高校生は、発表後すぐに帰宅で可哀そうだった。
※	2/3	ポスター発表の時間が遅かったため、特に3日目は聞きに来る人が少なかった。また、ポスター賞の審査および結果がわかりにくかった。結果は、HPお知らせに掲載された Poster Clinic by EMBO Press: Prize Winnersですか？12/5朝に結果が掲載されたようなので、3日目の発表者は審査されなかったのではないかな。
※	3	終了時間をもう少し早くした方がいいと思う
※	1/3	質疑応答がぴったり1時間であった。発表時間はもう少し早い時間帯にして欲しい。
※	1/3	最終日のポスター発表時間前にいろんなイベントが終わって帰ってしまう人が多いので、その枠に当たった人が若干かわいそうでした。
※	2/3	最終日の19時まで発表時間にあてるのは、遠くから参加している研究者にとって不都合であると思う。
※	2/3	似たような分野ごとに日程が組まれていると感じた。拝聴したいと思っていたポスターと自身のポスター発表の時間が被ってしまうので残念に思った。ある程度分散させてほしい。
※	3	もう少し長いほうが良い
※	2/3	また、ポスター発表の時間はもう少し長めに設定してもらえるとよいと感じた。張り出しが8時～なので、空いた時間に事前にポスターを見て回れたのはとてもよかった。
※	2/3	終了から10日を経てポスター賞の発表がない理由がまるで理解できない。
※	1/3	ポスター賞はもう少し多くの方に上げてもいいのではないかと感じました。
※	2/3	開始時間が遅すぎると思います。
※	3	夜にやるべきではない 最終日の夜は参加者が少なかった
※	2/3	前のポスター賞については会期後すぐ公式サイトで公表されたと思いますが、今回には見つけなかったです(12/16時点)
※	3	ポスターの時間が2時間は良いのですが、夜遅くなるのでもう少し早めの時間がありが良かった
※	2/3	17:00-19:00の発表では時間的に遅すぎる。特に最終日は、人が少なく盛り上がり欠けていた。もう少し、早い時間にすべきである。ポスター賞については毎年実施すべきである。
※	1/3	1つの会場内にポスターが展示されていた(複数の部屋に分かれていなかった)ため、移動や閲覧がしやすかった
※	2/3	ポスター発表の設定時間が遅かったと思います。特に最終日は訪問者も少なかったのではないのでしょうか。
※	3	時間が遅すぎると思う。特に最終日は一時間以上早めに終わるようにしないと遠方からの参加者が帰ってしまう。
※	2/3	最終日の夕方方は人もまばらで発表者が気の毒だったポスター賞がどのように行われたかわからなかった
※	2/3	興味深い発表を探すのが難しい。この指とまれのような方法で、自主的にグループ化できないものか。
※	1/3	ポスター賞の人数を増やしてくれて本当に感謝いたします。おかげで人生初めての受賞をすることができました。上位3%には選ばれなかったのですが、例年通りの人数でしたら受賞できていませんでしたが、上位11%に拡張してくれたおかげで受賞でき、今までの努力が報われたと感じました。
※	2/3	ポスター発表は夕方時間帯に設定したことは良かったと感じました。一方で、最終日の18:00-19:00の時間帯は参加者が少なくなる傾向があったと思います。遠方からの参加者にとっては参加しにくくなると思うので、時間帯として検討の余地があるのではないかな。

質問10. 各日のタイムテーブルについて＜複数回答可＞（その他）

【回答項目】

1.よかった

2.よくなかった

3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	1/3	ポスター ポスターは朝か昼が良いと思う
※	3	ランチ枠が13時は非常によかった。
※	1/3	聴きたい講演が被り過ぎて、途中退出して聴きに行くことになってしまう。(演者に大変失礼)そして部屋の移動が遠過ぎる。
※	2/3	最終日のポスターを最後に配したのは少し疑問。遠くから来られている方はポスターをバスして帰るケースが多かったのでは(3日目に発表が当たった人にはデメリット)。また最後まで参加すると帰るのが難しい場合もありそう。3日間にきっちり詰め込んだのでどこかに蹴寄せがいくのは理解できますが
※	3	終了時間が遅い
※	3	ポスター発表の時間帯は15:00-17:00にして欲しかった
※	2/3	ポスター発表の開始が遅く、それに依りてゆびとま企画が非常に遅い時間になったため、夕食を摂る時間がなくて困りました。ゆびとま企画が終了してから中華街へ繰り出しても、店は閉まり始めていたので、夕飯をきちんと食べることが出来ませんでした。
※	2/3	ポスターが遅すぎる
※	2/3	ポスター発表が遅すぎと思います。
※	1/3	ポスター十分にみられた。
※	2/3	ポスターの時間帯が遅いと感じた。
※	1/3	メインの口頭発表が午前中に集中していたので、学会に参加しつつラボに通えたので助かりました。ポスター発表で直接話をして、そのまま会場で延長戦を進めるにも良いスケジュールだったと思います。
※	2/3	ポスター発表が遅い時間帯なのは改善して欲しい。特に高校生も遅い時間なので気の毒に感じた。また、自分のコアタイムが高校生発表と同じ時間帯で見に行けなかったのが残念だった。
※	2/3	ポスター発表の時間が遅かった。午前中シンポジウムから連続したミニシンポジウムという配置自体は、午前中シンポジウムの大幅な時間超過を防ぐ工夫さえあれば問題ない。
※	1/3	英語のシンポジウムを全日程に配置したのは非常に良いと思う。9時のシンポジウムに出席するために早起きしているので、13時台のランチは遅いと感じた。ポスター発表は日中の方がありがたいです。
※	3	ポスターはもう少し早い時間がよい。
※	2/3	ポスター発表のディスカッションの時間が遅すぎる
※	1/3	お昼の時間が長く、また、一般のお昼の時間とずれていたため、ランチセミナーにあぶれて近くのレストランに行ってもそこまで混んでいなかったのが素早くご飯が食べられてよかった。
※	2/3	そんなにたくさんシンポジウム要りますか？もうちょっとまとめてもいいと思います。
※	3	ポスターの時間帯をフレキシブルにした方がよい。ポスターの分類が良くわからない(誰もわからないかもしれないが...)
※	2/3	午前中のシンポジウムからミニシンポジウムまでの時間が短く、解錠がいっぱいで入れないことがあった
※	2/3	ポスター発表時間帯が遅すぎる
※	2/3	ポスターの時間を従来より遅くしたのは非常に不便であった。元に戻して欲しい。臨時総会の時には会長は分子生物学会はポスターがメインであることを大きな特徴として挙げていたにもかかわらず、メインの時間帯から外す行為は矛盾しています。
※	1/3	ポスター発表を夕方にするのはよくなかった。最終日のポスター会場は、閑散としていて、ポスター参加者は、初日、2日目の1/3以下であるように感じられ、多くの参加者は参加していなかった。
※	3	遠方からの参加者にとっては、最終日は移動日となるため、学会終了時間(ポスター発表)を早くした方が都合が良いと思います。
※	2/3	ポスターが19:00までかかるのは遅過ぎると思う。
※	2/3	Q10と同じです
※	3	最終日のポスターは遅くとも17:00(できれば16:00)には終了するようにしてほしい。地方からの参加者がさらにもう1泊するはめになる。地方からの参加者ほど、財政的に苦しい機関に所属していることを考えていないと感じた。また、最後のセッションでは参加者が少なく、発表した学生のやる気が低下した。教育的観点からも、時間帯を早くすべきである。
※	2/3	ポスターセッションは例年通り昼間の方がよい
※	2/3	ポスターの時間が遅い。最終日は最終便に間に合わない。
※	3	ミニシンポジウムは良かった 企業のランチョンセミナーに人が入らないと嘆いていた
※	2/3	ポスター発表の時間はこれまで同様に昼の時間帯で良かったのではないかと感じた。夕方にするにしても終わる時間を17時(どれだけ遅くとも18時)になるように設定する方がよいと感じた。その理由としては特に最終日になるが、遠方からの参加者は新幹線などでの参加者が多く当日中に帰るには19時終わりでは最後まで参加することが非常に厳しい
※	3	最終日はコアタイムを早い時間に設定し、子育てや介護など遠方から来たが、どうしても早く帰りたい人に対応したポスターセッション時間があるとよかった。
※	3	最終日のポスター発表の時間帯は、少し早めの時間帯の方が良いのではないのでしょうか。
※	1/3	ポスター発表を夕方時間帯にすることに關しては、発表件数の少なさに繋がったとすれば、時間帯を検討してはどうでしょう？
※	3	ポスターの質疑応答時間が遅すぎると思った。
※	3	構成はよかったが、午前中のシンポジウムを短縮して、ポスター発表が18時までには終了すると、もっとよかった。
※	1/3	最終日のポスター発表は少し時間を早めにして頂けると嬉しいです。
※	3	ポスターを夕方になると、会場に足を運ぶ人が相対的に減るような気がします。
※	2/3	やはり18:00以降は遅い。昼食後くらいの時間帯が良いと思う。17:00-19:00では、多くの参加者が会場から立ち去っている感じてあった。
※	2/3	ポスターの時間帯が17-19時というのは良くなかったと思います。特に3日目は明らかに人が少なかったです。

質問10. 各日のタイムテーブルについて＜複数回答可＞（その他）

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/3	ポスター発表は午後の早い時間をお願いしたい。
※	3	良く分からない
※	3	ポスター発表の時間帯はもう少し早い方がありがたいです。
※	3	Q9にも書きましたが、ポスター発表の時間帯が遅いのではと感じました。
※	2/3	ポスターの時間帯が参加しづらい
※	2/3	ポスター発表は従来のようにもう少し早い時間帯の方が良いと感じた。特に、最終日の夕方の時間帯となると、遠方からの参加者は参加しにくいと思った。
※	1/3	前のセッションの時間が超過していると、次のセッションの準備ができない問題がある。どうにかならないか。
※	3	試行としてはよかったと思う。午前中シンポジウムとミニシンポジウムの時間感覚がやや詰まり気味だった。
※	1/3	数が増えたのはいいが、企業展示などを見に行く時間が少なく感じた
※	2/3	ランチョンセミナーならびにポスター発表は例年通りの時間帯に実施した方が良かったと感じた。
※	2/3	ポスター発表の時間が遅すぎる。特に最終日も19時までとなると、遠方から参加の方は既に帰路についている人が多いのではないかな？
※	1/3	公募シンポジウムを多く採択できたという点では、時間帯は良かったと思う。
※	3	夜遅いセッションや、最終日の一番最後のポスター等は避けた方が無難だと思います。
※	2/3	夕方のポスター発表の時間帯は、やや遅いように感じました。
※	2/3	公募シンポジウムは内容などで調整すべき
※	3	なぜこの時間帯に変更したのか教えてほしい。例年通り、昼の後の方が演者としてはありがたい。
※	1/3	ミニシンポジウムが良かった。演題数はこのくらいが参加しやすいかもしれない。
※	2/3	その日までに帰らないといけなかったが、時間が遅く、電車の都合で最後まで発表することができませんでした。
※	2/3	シンポジウムにて時間がタイトでintroductionが駆け足になっている発表者、時間overしている発表者がそれなりにいた。講演数は減るが、ゆとりを持たせても良い気はした。
※	2/3	最終日の7時までポスターをやるのは遅すぎ、関西圏からは大変です。5時くらいには終わってほしい。
※	2/3	ポスターを昼間にやって欲しかった
※	3	シンポジウムを多く採択するのは良いことだと思う。ポスターの時間は遅い。英語/日本語の制約にはあまり意義を感じない。
※	1/3	ポスターセッションはもう少し早い時間のほうが個人的には良かった。
※	2/3	セッションの時間はもっと長く時間を取るべき。朝8時から始めて良い。また、ポスターは真ん中にするように、お願いします。元気のある若者であっても、夕方よりは昼間のもっと人が集まる時間に発表させてあげたいからです。meet the expert sessionを作っていたらとありがたい。
※	3	午前中のセッション同士の間はあと5分はゆとりがあると良いと思いました。
※	2/3	ポスターは夜に開催より今まで通り昼開催のほうが良かった昼食後眠くなってしまうので
※	2/3	似たような興味のテーマをもつセッション同士は同時に設置せず、時間をずらしてほしい
※	2/3	最終日のポスター発表は帰りの飛行機の時間もあり会場に残り、説明をすることができませんでした。せっかく準備してきたのに残念です。前回まではもう少し早い時間であったと思います。次回は、最終日の発表時間をもう少し早い時間にさせていただくことを希望します。
※	3	セミナー間の時間が短かった
※	2/3	夜間の企画を減らすか、夜間の企画のみハイブリッドにするなどの配慮をしていただけるとありがたい。参加したくてもできなかった企画も多く残念だった。
※	3	ポスターが17時からと遅い時間であったため3日目は遠方の参加者は帰ってしまい参加しづらい。最終日は全体的に時間を繰り上げてほしい。
※	2/3	ポスターが17時過ぎからスタートなのは本当に改悪だと思いました。そもそも聞きに来てくれる人がいない。お昼なら暇つぶしがてらぶらぶら来てくれる人とコミュニケーションできましたが、今回は本当に目的がある人以外来ていない印象で、誰とも会話せずに終わってしまいとても悲しい思いをしました。あと普通に9時から19時まででなれない場所です仕事するのはとても疲れます…時間を短くして頂けたら嬉しいです。
※	2/3	ポスター終了が7時はちょっと遅い。飲み会の時間を考慮しないのは、学会としてどうなのか
※	2/3	ランチ枠はもう少し早めて欲しいです。
※	3	連日遅くまでプログラムが組まれていたので、特に最終日、早く終了すると良いと思いました。
※	3	Q9と同じ理由で、ポスター発表の終了時間をもう少し早くしたらよいと思った。
※	3	良い面も悪い面もあったと感じる。ポスター発表の時間が遅すぎるのは負担が大きいと思う。
※	3	ポスター発表が終わった後も企業ブースを見たかったので、終了時間をずらしてほしい。
※	2/3	ポスター発表はもう少し早めの時間の方が良かった。その方が終わった後にポスター発表者と話しやすかったのだ。
※	1/3	最終日の夕方はかなり厳しいスケジュールでポスター発表している人が多かったため、近場の所属中心にするなどの工夫が必要かもしれません。
※	2/3	Q9と同じ。時間設定が17-19時は子持ちの母には優しくないなので絶対に改善してもらいたい。自分が発表する日は何とか時間を捻出したが、それ以外の日はポスター発表は聴講できなかった。
※	3	ポスターが夕方なのはいいが、3日目は早めに終わってほしい。
※	3	ポスター発表はもう少し早い時間(午後早めの時間など)だと良いと思った。
※	2/3	最終日の19時までの発表は次回からは本当にやめて欲しい。参加している人は周辺地域の人ばかりではありません。飛行機を利用している人のことが全く考慮されていないことに、憤りさえ覚えました。最後まで議論したくても、最後まで参加したら帰れなくなる人や、発表者に至ってはポスター最終日の後半に発表になった人は金曜日にも宿泊を取らないといけなくなった人もいるのでは？最終日のみはポスター発表は昼一の時間に設定して、最終日の学会終了時間は17時にすべき。

質問10. 各日のタイムテーブルについて＜複数回答可＞（その他）

【回答項目】

1.よかった 2.よくなかった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	ポスターが17:00からだったり、19:00以降に講演があると、宿泊ではないが遠い場所からきている人にとっては参加しにくい。
※	3	3日目のポスター発表を行ったのですが、おそらく帰宅されている方が多かったように見受けられました。他のセッションとの兼ね合いもあるかと思いますが、もう少し早めの時間でも良い気がしました。
※	1/3	昼食の後は眠くなるので、ミニシンポジウムを昼食前に開催するのはよかったと思う。
※	2/3	ポスター発表は13-15時などがいいと思いました。
※	3	ランチ枠のプログラムが13時と遅いので、参加しにくかった
※	1/3	シンポジウムの時間がまとまっており、ポスター会場との行き来が一回で済んだのはとてもよかった。いつもシンポジウム→ポスター→シンポジウムで移動が大変であったため。ただ上記にも書いたが時間厳守にしてほしかった。
※	2/3	ポスター発表が夕方になることで、自分の口頭発表に興味を持ち、ポスター発表にも来る人がいて良かった。しかし、最終日の他の演者のポスターは、帰りの飛行機便に間に合わないのでは、発表を聞くことができず、非常に残念に思った。総合的に、ポスター発表は夕方ではない方がいいと感じた。
※	3	ポスターが終わるのがそこそこ遅くなるのがキツかった。特に最終日は帰らないといけないので最後まで残らなかった
※	3	シンポジウムの開始時刻が早く、遠方から3日間連続で聴講することが難しかった。そのため、10時くらいからの開始にしてほしい。
※	2/3	ポスターの開始時間が遅い。全体的に終了時間が遅い。
※	2/3	ミニシンポジウムがある分普段よりもタイトに感じた。
※	3	よくわからない。
※	3	お昼時間が遅い。非常識。
※	3	参加していない
※	1/2/3	・ポスターセッション開催時間が遅すぎると感じました。特に最終日は帰る人も多いので17時頃までには終わるようにして欲しいです。・日本語対英語の割合は良かったと思います。
※	2/3	ポスター発表を夜19時まで行うのは良くなかったと感じました。学会では久しぶりに会う人と食事に行く人も多いと思います。19時までポスター発表は遅すぎると感じます。私は偶数番号だったので18-19時発表でしたが、両隣の演者は18時半くらいにポスターをはがして帰ってしまい、活気が失われた雰囲気だと感じました。
※	3	今まで経験してきたスケジュールと違っていたので、膨大な演題をチェックしつつ適応するのに精一杯でした。慣れないと良い悪しが判断しづらい気がします。
※	2/3	上記の通り、午後のシンポジウムとポスター発表は時間を入れ替えるべきだった。
※	2/3	ランチ枠：時間帯が遅すぎます。ポスター発表：最終日19時終了では家まで帰れません。
※	2/3	ポスター発表の時間、17:00～19:00は時間が遅すぎます。関東圏以外の参加者・発表者の事が考慮されていない。特に地方の高校生は、発表後すぐに帰宅で可哀そうだった。
※	2/3	なんだか、同じような分野のシンポジウムが同じ時間帯にぶつかっているようだった。正直、ずらしてほしいと思った。
※	1/3	最終日の最後のポスターは少し厳しい日程だと感じた。
※	3	時間の制約上、やむを得ないと思いますが、シンポジウムは時間がタイトだったのに対し、ミニシンポはかなり自由だった印象があります。
※	1/3	・特に3日目の夜になると、遠方の方は帰られてる印象があったため、もう少し早い時間帯だと嬉しい。・シンポジウムの後にミニシンポジウムを続けること、また、その間の休憩時間の長さなどはとてもよかった。
※	1/3	ポスターの時間帯設定が非常に良かったです。前2回の大会（多分）ではポスターの時間が昼の中途半端な時間となっており、無駄に時間を持て余しましたが、今回は夕方になっていたのが本当に凄く良かったです。今後もこの方が良いでしょう。
※	3	夕方にポスター時間があり参加しづらかった
※	2/3	ポスターセッションや企業ブースの時間が遅いのではないかと思います。
※	2/3	ランチ枠とポスター発表が遅すぎる。
※	1/3	ミニシンポジウムが含まれたことで多くの幅広い分野のシンポジウムが開催されていたと思う
※	2/3	最終日のポスターが遠方のため聞けない、あるいは追加の宿泊が必要になり（特に金曜日で高額）出張費がかさむなどした。できればポスターは昼間にお子になってほしい。
※	2/3	1日目の午後、同時刻にメカノバイオロジーのシンポがあり、聞きたい演題に行けませんでした。重なるテーマは別日に設定していただけると嬉しいです。
※	2/3	ポスターが最後はよくない
※	2/3	企業にとっては例年のタイムテーブルのほうがありがたいです。

質問11. フォーラムについて＜複数回答可＞（その他）

【回答項目】

1.参加して、よかった 2.参加して、不満が残った 3.参加しなかった 4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/4	昆虫のフォーラムは実直なものだった
※	3/4	「1F-10 著者からエディターへ」には参加したかったのですが、時間の都合で参加できず残念でした。
※	4	フォーラムがあることを把握していませんでした。
※	3/4	プログラムを詰め込みすぎ
※	4	なぜ指とまと同じ時間にしたのか分からない どちらもいきたくったが行くことができなかった
※	4	企画は良いのに、参加者が少ないので、もったいないものがあつた。
※	2/4	フォーラムで発表したが、面白いセッションであつたものの、総会やマッチングイベントの裏で参加者が少ないのは残念だった。
※	1/4	エディターのキャリアを聞く機会は少なく、非常に有意義だった。
※	3/4	時間がちょうどいいところになつた。
※	1/4	毎回、この時間帯だから議論できるテーマを扱っていて、楽しみにしています。ぜひ続けてください。しかしこの指止まれ企画の裏でやらない方がよいと思いました。
※	3/4	開始時間が遅く参加しなかった。
※	3/4	面白そうなフォーラムがあり、参加したかったが、飲み会とかぶってしまったため、そちらを優先せざるを得なかった。
※	3/4	遅い時間なので参加できませんでした。
※	1/2/4	「1F-14」【J】分子生物学は陰謀論を超えられるか：「異端の生命科学者」この指とまれ！について、陰謀論を叫ぶのは別に良いが、引用や根拠をしめさない姿勢については科学者を名乗るのはどうかと思った。またそのような講演者、講演企画者を分子生物学会に参加させるのは好ましくないと思った。
※	2/4	内輪の人間だけで盛り上がっている印象を強く感じ、終了後の飲み会などに誘われたところで参加しにくかつた。
※	3/4	開始時間が遅い。
※	4	この指とまれ企画と重なってしまったため、残念ながら参加できませんでした。フォーラムもすごくおもしろそうだったので、残念でした。
※	1/4	内容はどれもユニークで面白かつたと思います。他のセッションと違って議論を主に置いていたので、正直なところ時間が足りておらず、消化不良感もありました。
※	3/4	夜にフォーラムがあつても参加する人は少ないように思います。
※	1/4	異分野の内容で、シンポジウム以上に役に立つた。

質問12. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて＜複数回答可＞(その他)

※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索システム、アプリ

【回答項目】

1.不便を感じなかった

2.不便を感じるがあった

3.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	3	アプリは軽快に作動して、たいへんよい。ただし、WEB版と同期していないのが、不便。また、フィルター機能がよい。その日のブックマークしたポスターだけを確認したい、などに、不便だ。タイムテーブルでフィルターできる機能は便利だ。
※	2/3	アプリとブラウザでブックマークが連動しないのは使いにくい。アプリも更新があると表示が出た後、あとで更新するを選択できず更新するしかないときがあった。その更新も一向に終了しないため、アンインストール後再度インストールし、ブックマークが消えてしまったのがっかりした。かなり前の年会、記憶が定かではありませんが2018年くらいか？でアプリを上手く使えていた回があったと思うので、それを思うと今回のシステムはいただけないと感じた。
※	2/3	webとiPhoneのアプリで、ブックマークを同期して欲しい。
※	1/3	アプリは使いやすいかった
※	2/3	プログラム全体を見てここに行きたいとクリックすることができ図、不便。使い勝手を前もってよく検討して欲しかった。もっと使いやすくできるはずです。
※	2/3	これだけの演題数なので、開催期間を伸ばしてほしい。ハイブリッド開催希望
※	2/3	学会開催数日前までは、タイムテーブルからシンポジウム要旨やポスター要旨へ飛べたのですが、当日は出来なかったために非常に困りました。私と同じ思いをしている人は他にもいました。これは予めアナウンスが必要ではありませんか。皆、当日になってから急に要旨をみるのができずに、直接演題を聞いていたと思います。ことによると演者リストも見る事が出来なかったと思います。
※	2/3	他の学会アプリでは、タイムラインとリアルタイムの時間と連動して、現時刻が縦線で表示されてシフトしていくし、ブックマークの現在講演中の演題が優先的に表示されて終了済みの演題がどんどん埋もれていくが、今回のアプリは毎回、日付を絞るところからやらないと今やっている演題が探せない。せめて今日の演題が優先的に表示されて1日目の演題が1番先には出てこないようにしないと不便。あとメモ機能もなく不便。
※	2/3	非常に大規模な学会なので、膨大な演題から
※	2/3	ブックマーク内の選択表示方法が日程別のみだったのは不便でした。セッション別(やカテゴリー別:設定された場合)の選択もできると使い易くなると思いました。
※	2/3	Confitのプログラム検索アプリ、会期中は問題なかったのだが、会期終了後に立ち上げるとデータ更新の画面が出て、インストール中のまま止まってしまって動かなくなった。
※	1/3	今年の要旨閲覧システムは動作も軽く、不便を感じる点はほとんどなかった。昨年まではポスター演題の一覧を見るとしばらく動かなくなったように記憶しているが、今年はスムーズに閲覧することができた。今年はグラフィカルアブストラクトが廃止されたが、あると理解度がまるで違うため再検討してほしい。
※	2/3	pdfのダウンロード単位が中途半端。1つつつかセッション全体かで、セッション全体ではサイズが大きすぎた。ブックマークしたものだけのpdfダウンロードができるようにしてほしい。アプリはOS制限で使えるデバイスが限られ、ログインしてもアプリとwebのブックマーク連携がなく不便だった。検索もしにくかった。学会会場のwifiがキャパシティオーバーで繋がらない状態で、ケータイ電波も悪くネット環境が極めて悪かった。ウェブベースにするなら、今回のネット環境は貧弱すぎる。
※	2/3	アプリのアップデートが終了せず諦めたことがあった。会場のfree WiFiがほぼ全日でつながらず、要旨のPDFをダウンロードしてうまくいかなかった。
※	2/3	開くたびに更新されるが、パシフィコは会場によっては電波が弱いし、毎回毎回更新されてもどこが変わったのか分からない。気軽に更新しないでほしい。
※	2/3	発表者だけでなく、参加者を検索できる機能があればよかった
※	1/3	アプリがものすごく便利だった。タイムテーブルのセッションをクリックすると、そのセッションのアブストを見れるページに飛べるのがよかった。また、マップがあったので部屋番号を確認した後どの会場に行けば良いのか、携帯ですぐに確認できたので迷う時間が少なかった。
※	2/3	タイムテーブルとの関係が曖昧だった。全日程が一度に表示されて使いづらかった。当日分は別に見られるとか、タイムテーブルからリンクが貼られているとかしていたら良かったと思います。いくつかのプログラムを見落としました。
※	2/3	PCとスマホで同期されない点。
※	2/3	WiFi接続数のキャパが足りない
※	3	webと連動してほしい
※	2/3	会場でネットにつながりにくかった
※	3	見にくい
※	2/3	要旨がいちいちパスワード入力しないとみられなかったのは不便でした
※	2/3	プログラム検索が難しかった。
※	2/3	wifiが繋がらないから、使いようがない。過去の分生と比べても最悪レベルに繋がらない。
※	2/3	全演題をざっと見るには適さないと感じた。冊子がないのは問題と思わないが、その代わりにざっと見られる仕組みがあるとよい。
※	2/3	Wifi
※	2/3	ウェブで登録したブックマークがアプリに反映されず不便に感じた。
※	2/3	プログラム検索アプリのスケジューリング機能が使えにくかった。自分で選択した演題のみをスケジュールとして表示する機能が癌学会で使用しているものの方が使用しやすかった。紙の冊子がないので、使いやすいアプリを選択することが大切かと思う。
※	2/3	要旨が検索見づらい。
※	2/3	ブックマークはアプリとWebサイトで連携可能にしてほしい
※	2/3	ポスターで、どのカテゴリがどのあたりの番号か、というのがわからなくて困った。
※	2/3	アプリとwebが連動していないので、webで登録した(聴講したい)演題がスマホで見れない。登録した演題について、時間順とセッションごと等、ソートできるようにしてほしい

質問12. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて＜複数回答可＞(その他)

※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索システム、アプリ

【回答項目】

1.不便を感じなかった

2.不便を感じるがあった

3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/3	ブックマークした演題だけPDFファイルにエクスポートできる機能は良かった。今後も続けてほしい。
※	2/3	発表演題の確認は、学会前・学会後はPCで、学会中はタブレットやスマートフォンなど、異なるデバイスを用いて行っています。そのため、各デバイスでブックマークに保存した演題についても、共通のログインシステムで一括して確認できるとより便利だと感じました。
※	2/3	パシフィコ横浜の通信環境が悪かった
※	2/3	苗字のみで検索すると、結果の表示に上限があったらしく、一部の人がだけが表示されていた。
※	1/3	名札の名前が大きく太く印刷されており、相手と離れていても読みやすくてよかった。
※	2/3	もとに戻るボタンが使えない
※	2/3	Confitは利用したが、Webでのブックマークがアプリに反映できるようになると助かります。またダウンロードしたpdfにロックがかかっていたので書き込めるようにしてもらえるとメモの効率が上がったと感じました。
※	2/3	アプリをPC、スマホで開いてそれぞれのデバイスで登録した情報が、デバイス間で共有されないのが不便でした。きちんとしたアプリにしていきたいと思います。
※	3	どんなサポート体制があるか把握していないのでコメントできない
※	3	参加していないので分からない
※	2/3	前回参加時の分生独自のシステムよりは使いやすかった。ただ、ポスターセッションなど数が多すぎて目的のものを探すのが難しい場合もあった。
※	2/3	個人アカウントにログインできる仕様ではなかった？個人のブックマークが見られなかった。
※	2/3	要旨を呼び出すのに難しい場合があった。
※	3	confitに関してはとても便利であると感じた反面、情報のアップデートがなかなかうまくいかなかったり、web版だとmenuの位置などが少しわかりづらくアクセスに難を感じる場面がありました。基本的にはあって良かったと感じていますが、特にweb版のmenuの位置や検索機能など使い方を示すものがあっても良かったと思います。
※	3	大変便利であったが、デバイス間でブックマークが同期するとなおよかった。
※	2/3	アプリが読みづらく言語選択ができず、かつ、動作が悪かった。会場のwifiおよび電波が弱く、抄録はほぼ読めなかった。
※	2/3	webブラウザとアプリで内容がsyncしないのが不便。
※	2/3	分厚いプログラムを抱えて歩き回るよりアプリで管理した方が楽であった。一方で、アブストラクトを見る度にPWを要求されるのは使いにくかった。
※	2/3	アプリとウェブでブックマークが共有できないのは不便なので改善すべき。演題数の多いポスターでは、番号の末尾まで追跡するのが困難なので、100題ごとくらいに区切って表示すべき。
※	3	参加証明書の発行がわかりにくいです。
※	3	PCとアプリで講演のお気に入り登録などの連動が反映されず不十分だった。
※	2/3	Confitは非常に便利であったが、iPadでキーボードを使用時(検索する時)に縦表示のまま横表示にならないのが難点であった。
※	2/3	ブックマークした演題の中で、現在進行中のもの、5分後のもの、すでに終了したものを分けて表示したい
※	2/3	会場でネットワークが繋がらない時には非力でした
※	2/3	ウェブとアプリでブックマークが同期しないのはおかしいと思った。使いづらい。
※	2/3	web上でブックマークした演題をアプリでも同期させてほしかった。アプリの更新が長くて演題確認にいちいち時間がかかった
※	2/3	アプリの操作性に問題がある点に加え、ウェブ版とのブックマークが非同期のため混乱した。
※	1/2/3	基本的には充分であったと感じた。しいて言えば、ポスター番号での要旨検索ができるとよかった。(発表者の名前前で引っかけられないことがあったので)
※	3	概ね便利で使用させていただきました。タイムスケジュールの欄画面がやや動作が鈍く使いにくさがあったかと思いました。
※	2/3	アプリが会期中にバージョンアップするので、2日目、3日目ではバージョンアップしてからでないと、要旨が見られないのが不便だった。
※	1/3	検索機能とお気に入り登録機能が非常に便利でした。
※	2/3	PCとスマホで同期できないのが不便だった。
※	2/3	せめて、スマホのアプリとPCオンライン版との同期くらいはできないと、使い物になりません。ポスターの分野別の区分けがなく、何百題という演題が羅列してあるだけで醜さが最高潮でした。次回は要改善です。
※	3	時間ごとに初期画面で表示されるタイムテーブルを動かして欲しかった。午後になっても朝イチのセッションが初めに出て、若干煩わしかったです。
※	2/3	同じアカウントでも、端末が異なると情報がリンクできなかったのが不便でした
※	2/3	簡易冊子くらいは学会参加費を徴収しているので郵送にて事前に配布すべき。もしくは、希望者には配布すべき。
※	2/3	「データの更新があります」とアプリに表示され、ダウンロードしても更新が終わらず止まってしまう、要旨が見られないことが多々あった(「今はしない」が表示されない時があり、そうすると更新を押すしかないが結局見られない)。アプリとブラウザでブックマークが連動しないのは非常に不便
※	2/3	ブックマークとタイムテーブルが連動していないため、不便だった。画面右上の要旨閲覧頁へのリンクが薄い緑色だったため、アクティブではないリンクかと誤認した。
※	2/3	年会前にPCでConfitシステムにログインして興味のある発表をブックマークしておいたが、それがスマホのConfitアプリでは一切見れなかったのが、不便すぎると感じた。
※	2/3	チェックした項目が、全日程でまとめてリスト化されていたが、日付ごとや時間常ごとに区別されていると、使いやすかった。
※	2/3	全てのプログラムを含んだPDFのサイズが非常に大きく、ノートPCで開いてもすぐ落ちてしまい、扱いづかった。アプリの利用により概ね解決した。

質問12. 年会で導入したシステム・サポート体制などについて＜複数回答可＞(その他)

※アトラス社Confit: 年会参加登録/演題登録、要旨・プログラム検索システム、アプリ

【回答項目】

1.不便を感じなかった 2.不便を感じるがあった 3.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/3	my要旨を保存するPDF化したあと保存されていなかった。
※	1/3	Confitは使いやすく便利でした。
※	1/3	ブックマークツールの使い勝手が大変良かった。時間順でソートしてくれるので講演のオーバーラップが確認しやすかった。
※	1/3	アプリはここ数年無かったので、これはとてもいい。
※	3	参加していない
※	3	マイスケジュールの選択に入れる際、最重要(必ず聞きに行きたい)と重要(後で要旨をチェックしたい等)に分けられると良いと思いました。
※	2/3	セッション全てをブックマークしても、各演題が独立して表示されるので整理しなおす必要がありました。階層性があるともっと使いやすいと感じました。
※	2/3	システムの大枠自体には問題無い。ブックマーク機能は便利と思う。ただ、ポスター会場の貧弱なネット環境で一度に1000近い演題を一気に読み込まないと次に進めないのは問題だった。せめて50演題ずつ読み込む様に、ポスター番号を001～050から901～950にジャンプ出来る様に設定されていればもう少し使い勝手は良くなったと思う。
※	3	よかった、抄録にメモとか取れるようになるといいなと思います。
※	2/3	アブストの公開が少し遅いと感じました。
※	2/3	検索が使いづらかった。複合検索が弱い。
※	2/3	詳細なプログラムを検索するためのボタンがわかりやすいところになかった。日程のページにあるとよいと思う。
※	2/3	タイムテーブルをスマホで見ようとしたとき、字が細かすぎたので拡大したところ、スクロールができなくなっていて、上の方しか読むことができなかった。その他は概ね使いやすいかと思います。
※	1/3	要旨の閲覧、情報更新以外、WiFi不要なのは快適でした(会議場、展示場とも、ほぼフリーWiFiが繋がらなかったもので、余計にそう思います)。
※	2/3	同じシンポジウム内の要旨を順番に見る事ができず、毎回一度戻ってプログラムから次のを選んで、というやり方をしないとイケなかったのが面倒だった。
※	3	PCで登録したお気に入りアプリで反映できないことを学会参加当日に知って不便を感じた
※	2/3	ポスター発表の要旨(演題のリスト)について、分野ごとの区切りを入れてもらえると、自分の興味のある分野の演題を探しやすくなると思います。
※	2/3	会期中にデータ更新が頻繁にあり不便を感じた
※	2/3	ポスター発表での分野検索ができない。
※	2/3	アプリシステムは非常に便利だった。Webで要旨を閲覧すると毎回ページ上部に戻り、スクロールが大変だった。
※	2/3	会場のWi-Fiが弱く、当日Confit上で要旨を確認するのが困難なときがあった。
※	2/3	Confit のデータをあらかじめダウンロードしておかなかった場合会場のfree WiFiではダウンロードできない(ネットワークが遅い?)ことを事前に注意して欲しかった。これはWindows notebookでもiOSの端末でも同じ問題に遭遇しました。

質問14. 経費節減のため参加章・ポケットプログラム(日程表などのプログラム小冊子)の事前送付を行わなかったことについて<複数回答可>(その他)
 ※事前の参加登録者にはご自身での参加章印刷・持参を依頼、ネームホルダーやポケットプログラムは会場内の各所に設置、Confitアプリ導入

【回答項目】

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1.特に手間や不便さを感じなかった | 2.年会参加費を抑えるためなら許容できる |
| 3.年会参加費が多少上がっても事前に印刷・郵送してほしい | 4.その他 |

回答者番号	回答	その他記述
※	1/4	ネット環境が不足しておりアプリを十分に利用できなかった
※	1/4	参加費(正会員、当日 ¥20,000)は高いと感じた
※	1/4	非常に良かったと思いました。
※	2/4	年会プログラム集冊子はA4にしてほしい。文字が小さすぎて見えない。
※	3/4	当日配布できるように会場に置くのであれば、事前に明記して欲しかった。送料を抑えるためであれば、当日配布すると事前連絡しておけば、それでも良いと思います。
※	2/4	経費節減のためという割には、年会費・参加費の値上げはどういうつもりですか？
※	2/4	会場の無料Wi-Fiでインターネットに接続できなかったため、抄録・プログラム検索システムが利用できませんでした。
※	1/4	経費節約・ペーパーレス化の時代を考えると今年度の運営で全く問題ないと思います。
※	3/4	ポケットプログラムはシンポジウムのタイトルや大まかなタイムテーブルしかわからなかったのも、少し分厚くなったのも良いので、全体がわかる冊子がある方が良いでしょう。結局詳しいプログラムはPCやアプリを見なければいけないのは不便である。
※	3/4	若者は冊子はいらないのかもしれないし、学生は会員費も安いので、参加者全員ではなく学生会員以外の年会費を払っている会員にだけ冊子を郵送して欲しい。
※	1/4	配布が現地であると分かっていたらよかった
※	2/4	ポケットプログラムのオンサイトでの配布について把握していなかったため、事前に分かりやすくご案内いただけると助かります。
※	1/4	ポケットアルバムは便利なので、今回のように現地調達で良いので、無くさないでほしい。
※	1/4	会誌で事前に開催概要をご案内いただいていたので、そちらを活用させていただきました。これもなくなってしまおうと結構きついです。
※	3/4	マッチングの企画などは参加したい人は参加するでしょうから、それを無料で開催する経費の分でも印刷・郵送ができて良かったのでは。
※	2/4	基本的に不要、あるいは当日希望者のみで問題ないかと思います。
※	1/4	当日にポケットプログラムとしていただけた点や、confitのアプリも使用していたことから不便は感じませんでした。一方、他のアプリを利用していない参加者がかなりプログラムを探すのに難儀していた様子はあったので紹介が少し弱かったのではないかと感じました。
※	1/2/4	ペーパーレスで良いです。しかし抄録集pdfはダウンロードできるようにしてもらいたいです。
※	1/2/4	iPhoneや機種の違いでしたら恐縮ですが、アプリについて、現在の時間帯がわかる表示(線などが入る)アプリを使用した経験があり、そのような表示があるとよかった
※	1/4	アプリ導入には賛成だが、confitアプリの導入の周知をもう少しして欲しかった。当日慌ててインストールした。
※	4	口頭発表のみのプログラムで、ポスターが含まれていなかった。文字は小さくても良いので、全ての発表のプログラムにしてほしい。参加費が多少上がっても事前送付にしてほしい。昔のように！
※	1/4	年々費用が上がっているの、多少の不便はあったとしても無駄は省いてほしい。個人的には参加章ホルダーも不要で、持参で十分だと考える(その場合、大きな仕様変更はできなくなるが)。いまやスマホを持っていない人もごく少数だと思われるので、ポケットプログラムもデータのみで十分だと考える(協賛に影響がなければ)。
※	4	I was great that we did not have to carry heavy paper-prints in our bags and could save resources.I found two disadvantage: it was difficult to quickly find parallel presentations of interest on Confit and sometimes could not connect to the Pacifico WiFi.
※	2/4	ポケットプログラムの事前発送は必要ないと思うが、人によっては参加章のダウンロードは忘れそうなので、当日印刷できていいのではないかな。
※	1/2/4	アプリは不完全で使いづらい。安いシステムかも知れませんが、使えないと意味がありません。
※	3/4	それすらもしないのであれば、学会参加費をもっと安くすべき。
※	2/4	実際に学会に参加したことを所属機関に証明することができないシステムだった。
※	1/2/4	今の時代、当然でしょ。
※	4	郵送はしなくて良いが、これまでの様な演者名が全て印刷された紙媒体のプログラムが欲しい。プログラムに直接メモを書き込めるので便利。それがなかったので、別にメモ帳を持つ必要があった。
※	1/4	合理的で適切だと思った
※	1/4	荷物が減るのでありがたいです。
※	2/4	それでも参加費が高いと思います
※	4	電子版の方が検索には便利であるが、参加人数が多く全てを掲載した内容は容量が大きいので、冊子版として簡略化したもの(例えば、演題と所属のみのリスト)があれば、便利ではあると思う。
※	1/4	Q13, 14に関して、今回のやり方がとても良いと思いました。会場でポケットプログラムを配布するので十分と思います。
※	3/4	もともと年会費がそれなりにかかっているのだから、プログラムくらい郵送してほしい。ポスター演題など、一通り目を通して見るものを決めるので、冊子のほうが見やすいと思う(今回のポケットプログラムではダメだけど)。そもそも年会開催は赤字なのか？抑えた経費はどうなったのか？
※	1/4	逆に会場で配っていたら忘れの心配がない。
※	2/4	会報を代用したが、ポケットプログラムを郵送してもらえると便利ではある。

質問15. AI同時通訳サービス「Sentio (旧ポケットークforカンファレンス)」の利用について＜複数回答可＞(その他)

※メインホールのすべてのシンポジウムほか、指定シンポジウム会場を中心に試験的導入

【回答項目】

1.利用して、よかった 2.利用して、不満が残った 3.利用しなかった 4.その他

回答者番号	回答	その他記述
※	2/4	専門用語の翻訳が上手くいっていなかった事と、発音が日本語っぽいとそのままだカタカナとして出力してしまう点に不満がある
※	3/4	利用の仕方がわからなかった。初めて導入するものは、解説があった方がいい。どこかに説明があったかもしれないがみつけれなかった。
※	2/4	ネット環境が不足しており十分に利用できなかった
※	3/4	使用する機会がなく残念でした。
※	3/4	全く必要のないサービス。英語が理解できないなら聞かなければ良い。
※	2/4	母国語で話していただいて、必要な言語に翻訳(同時通訳)する方がいい。
※	2/4	やはり同時通訳していてもタイムラグがあるので、スライドの進行と翻訳が若干遅れたり、とても早口になってしまっていて聞き取りづらいところがあった。しかし、試みとしてはとても良かったと思うので、可能であれば次年度以降も続けて行って欲しい。
※	3/4	活用した学生からは、一般的な内容は違和感なく翻訳されたが、専門用語などの翻訳がイマイチだったという話を聞いた。
※	3/4	ヘッドフォンを忘れて使えませんでした、次回は使ってみようと思います。
※	2/4	私は文字表示について体験した。翻訳のスピードが遅く、スライドと一致せず内容が把握できない。音声出力ならまだよかったかもしれない。スライドとスマホを両方見るのはつらい。別スクリーンで出せば少しは良いかもしれない。また、数字や遺伝子の略号を無理に訳そうとしており、混乱している。私が聞いた講演では演者が立て板に水で発表していたので難しかったとも思われる。話し手が本システムを理解してゆっくり話せば多少は緩和されるかもしれない。Sentioは残念ながら現状では使い物にならないと言わざるを得ない。AI同時通訳システムは数多く発表されており、今後淘汰されてゆくと思われる。
※	3/4	知らなかった。知っていたら試してみたと思う。
※	3/4	今回は機会がなく利用しなかったが、是非継続的な使用を検討してほしい。
※	4	一部に導入されていたので、導入されていない英語セッションがやや不利だったかも。
※	3/4	使おうとしてネットにつながらなかった
※	2/4	まだmatureではない。いちいちスマホを見ないといけない。講演者のメインスクリーンのとなりにモニターあるいはスクリーンを設置して、そこに日本語訳を表示してくれたほうが前方にのみに集中できるので助かる。
※	2/4	試みはよかったが、誤訳が多く、反応も遅いと感じた。遡って確認できるのは、よかった。
※	2/4	Wi-Fiが切れてしまうなど、通信環境の充実が必要。
※	3/4	Wifi接続できなかった。
※	2/4	文字起こしされてコピーできるのが発表者目線で嫌な感じがした
※	2/4	1. 翻訳精度が低い。 2. 翻訳のスピードが遅い 3. wifiの速度が遅い 4. wifiの同時接続許容人数を超えて利用できない場合があった 5. 同時通訳を受ける場合、話者は通訳者が通訳を終えるまで適切な間を取るべきであるが、ほぼすべての発表者がこれを意識・実践できていない特に翻訳精度が向上しない限り、来年はここに資金を投入するべきでないと考える。 本年は金をドブに捨てたと言って過言でない。
※	2/4	手元のスマホと発表スライドを同時に見るのは難しい。日本語→英語、英語→日本語の翻訳はスクリーンに映写することはできないか？
※	2/4	すごく不満であったわけではない。利用しなくてもいいかなくらい。
※	3/4	利用せずに言うのはおかしいかもしれませんが、これに慣れると英語講演を聞く能力が育たないのではないのでしょうか。将来どの学会でも(国際学会でも)行えるようになれば別ですが。
※	3/4	次回は利用してみようと思う。
※	3/4	パシフィック横浜のwifiが全然つながらなかった
※	3/4	英語のシンポジウムはスライド見ながら、なんとなく聞いてます。日本語に比べると頭に入ってこない。操作を把握してなかったので次は利用してみたいです。
※	3/4	Wi-Fiがつながらなかったため、利用しなかった。
※	3/4	スマホを持ってないので使えません
※	2/4	母国語が英語ではない演者は、発音が聞き取りにくいとか、あまり上手に翻訳していなかった
※	1/4	日本語の講演にも導入しても良いのではないかと。聞き逃した箇所や聞き取れなかった箇所を確認できる利点がある。翻訳文にかじりついているとスライドを見ることができないので、専ら聞き逃した箇所の確認用として利用した。
※	2/4	スライド画面の横にモニターで出していただけるとよかった。理由はスマホやタブレット画面とスライド画面で目線が移動するため、少し不便に感じた。
※	3/4	AI同時通訳サービスがあるとだけ書いてあったので、使い方を含め、なんだかわかりませんでした。英語を日本語にするサービスかと思っていましたが、もしかするとこれは日本語を英語に翻訳するシステムだったのでしょうか？
※	3/4	必要性を感じない。
※	3/4	AI同時通訳の必要性が理解できないまま会期が終わった(どこかに書いてあったかもしれませんが、すみません)。
※	3/4	利用したかった講演で実施されていなかったため。でもあるとものすごく助かります。
※	3/4	使いづらい(使いづらそう)ので使わなかった
※	2/4	アクセス過多のため繋がらなかった。
※	4	AI同時通訳サービスはとても良いサービスだと思いますが、FreeWifiが混んでおりなかなか接続できずに結局、あまり使用できませんでした。
※	2/4	翻訳の精度が不安定で、かつ翻訳までに時間差があるため少し不便でした。

質問15. AI同時通訳サービス「Sentio(旧ポケトークforカンファレンス)」の利用について＜複数回答可＞(その他)

※メインホールのすべてのシンポジウムほか、指定シンポジウム会場を中心に試験的導入

【回答項目】

1.利用して、よかった 2.利用して、不満が残った 3.利用しなかった 4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	3/4	たまたま自分が聞いたセッションが日本語セッション、あるいは英語でも同時通訳がなく、サービスの恩恵を受けなかった。次回はぜひ利用してみたい。
※	2/4	何回か使用したが、話のほうが多く進むので、文字が追いついていなくて、結局あまり使っていなかった。親しみのない専門用語がわかると理解しやすいと思ったが、期待外れだった。
※	3/4	導入するのであれば、日本の学会なので日本語での発表にしてほしい。
※	2/4	翻訳が実用レベルではなかった
※	3/4	利用してみたかったが、利用するのを忘れてしまった
※	2/4	会場の電波が弱くスマホもPCもつながりにくかったため表示が遅かった。また、スクリーンとスマホの画面を交互に見ることになり見にくかった。サブスクリーンなどに表示してほしい
※	2/4	あまり実用的ではないと思った。特に発音の上手くない日本人の英語はまともに翻訳されていなかった。翻訳も途中で止まっていたりして悲しかった。
※	1/4	専門用語の認識が思ったより適切だった。改善が進んでいると思った。
※	4	参加していない
※	2/4	パシフィコのWiFiが脆弱でほぼ繋がらなかったです。個人契約している回線を利用したが、通信量が多くなり負担となりました。
※	1/4	より多く導入してほしい。
※	4	少し試してみましたが、スライドとスマホを同時に見るのはかなり大変でした。
※	2/4	利用してみましたが途中で機能しなくなった。
※	2/4	部分的に精度が低いように思われた
※	3/4	会場での回線接続速度が遅すぎ。

質問16. マッチングイベント企画「このゆび、とーまれっ」(語りたいテーマの立案者と参加希望者とを結ぶ交流イベント)について<複数回答可>(その他)

※年会初日・2日目の夜(19:15~20:30)ポスター・展示会場等で(一部企画はランチョン時間帯に)開催

【回答項目】

1.参加して、よかった

2.参加して、不満が残った

3.参加しなかった

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	2/4	イベントごとに内容に差があった
※	1/4	とても楽しかったです。ただ、開催時間が遅かったことが難点でした。終了時間がもっと早ければ、通りすがりの人も沢山加わってくれたと思います。開催時間が遅かったので、予約した人以外はほとんど夕飯に出て行ってしまったと思います。
※	1/4	何をどうマッチングするのか、主催者も参加者も若干の戸惑いがあったように思います。あと、環境が参加者が気軽に打ち解けるにはいまいち落ち着かないというか。せめて車座とかにすぐセットアップできるような場があればいいなと思いました。
※	3/4	マッチングが事前予約だと思っていた。
※	1/4	飛び入りで参加した。少人数で、同じ要素を持つ集まりということで安心感があり、発言、会話が弾んだ。知り合いができた。とても良かった。
※	3/4	開始時間の遅さに不満があり参加しなかった。サイエンスピッチのようにポスター発表と並行でも良い。試飲ブースは数を限定してもマッチングイベントと別で欲しかった。
※	1/4	気が引けて申し込みができず、当日に立ち寄りしましたが、良い企画だと思いました。もっと積極的に参加すれば良かったと思います。
※	3/4	参加しませんでした、良いアイデアだと思いました。
※	3/4	時間が遅すぎる。魅力的なタイトルのものはなかった。
※	3/4	興味がなかった
※	4	もうすこし練ってから企画してほしい 全部オーガナイザーに丸投げは良くない。また、せっかく話が盛り上がってきたのに「会場閉めるから早く出る」のかけ声はいただけない。2日目は自由に軽食・ドリンク取れるようになっていたので、飲みながら指とま用のテーブルで軽食をとり帰って行った。指とま参加に声がけしても、無視。非常に不愉快。
※	3/4	時間が遅すぎた
※	3/4	参加してないが、見ててよかったと思います。
※	3/4	参加はしなかったが、来年度以降も続けるべき企画であると思う。
※	1/4	昼がいいと思います。夜のマッチングイベントに参加し、その後、中華街に出かけたら、ほとんど店が閉まっている、閉店間際でした。
※	3/4	時間が遅くて参加したくても参加できなかった
※	1/4	2日目のオーガナイザー(ブース16)だったが、受付で1日目より約15分早く始める、と聞いて少し戸惑った。自分はオーガナイザーなので早く知ることが出来たが、参加者は知りようがなかったと思う。自分のセッションには12名登録があったが、実際に来たのは3名で、うち1名は飛び入り参加だった。いろいろなアイデアが飛び交う有意義なセッションになったが、時間の設定には工夫が必要かもしれない。
※	4	意味がよくわからなかった。若手の気持ちに沿って、とのことかと想像するが安易なテーマ設定のように感じた。
※	1/4	立案者の裁量に任せる、ということで良いとは思いますが、もう少し形になったもののほうが嬉しいかもしれない。
※	3/4	目的が合致しなかった。
※	3/4	フォーラムに魅力的な企画があり、参加しなかった。フォーラムと重ならない時間なら参加できた。
※	1/4	非常に良い経験ができた。次の学会でもぜひたいやっこしたいです。
※	1/4	初日のお昼開催の、子育て中の研究者での悩み等を話し合うイベントに参加しました。ラボ内では同じような境遇の人が少なく、なかなか相談できない、情報交換ができないという中、学会を通して全国で集まって話し合えることはとても貴重で大事なことだと思いました。
※	3/4	学部学生が参加できるものが少なかった。
※	3/4	学会前にこの企画について予習する間がなかったので、来年もあつたら参加してみたい。
※	2/4	リーダーがおらず、個別にグダグダ話ただけで終わってしまった。。期待してたのに残念。
※	1/4	子育て中で夜の懇親会などには参加できないため、「研究と育児のクロスロード:リアルを共有する交流会」を昼に開催してもらいとても嬉しく思いました。
※	1/4	新たな出会いがあり非常に良かった。
※	3/4	若い世代が参加しやすいのでは。その点は良かったと思う。
※	2/4	ご飯をとりに行きづらくほとんど食べられなかった。
※	3/4	夜は個人的に懇親する方がほとんどなのは?言い試みなのに開始が遅いです。18時半には開始して、19時半には終わらないと参加しづらいです。
※	1/4	似たようなバックグラウンドの研究者を見つけたので、研究の励みになった。一方で、
※	3/4	夜遅くの時間帯であり、意味不明。また意図もよくわからない。
※	1/4	他の分野や大学の先生と話せていい刺激になった。
※	3/4	夜のイベントに参加しようと思ってるのをしばらく待っていたが、時間的に遅く、他の人との付き合いの方に行ってしまった。
※	1/4	子どもがいると夜の時間の交流ができないのでランチタイムにゆびとまが開催されてとても嬉しかった。少人数で顔が見える議論ができてよかった。その後もつながりができた。今後は椅子を丸く輪にできるような会場での継続を希望する。
※	3/4	今回は参加しなかったが、将来的に興味のあるテーマがあれば参加してみたいと感じた。
※	1/4	子育て向けのゆびとまがお昼の時間にあってよかった。

質問16. マッチングイベント企画「このゆび、と一まれっ」(語りたいテーマの立案者と参加希望者とを結ぶ交流イベント)について<複数回答可>(その他)

※年会初日・2日目の夜(19:15～20:30)ポスター・展示会場等で(一部企画はランチョン時間帯に)開催

【回答項目】

1.参加して、よかった

2.参加して、不満が残った

3.参加しなかった

4.その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/4	2日間とも参加しました。参加する前は不安でいっぱいでしたが、今回の学会でこれがとても良かったです。私のように地方の単科大学から、ラボで一人で参加する場合でも、新たに出会った人と研究の話を深くディスカッションできることが、すごく新鮮で楽しかったです。オーガナイザーの方は準備が大変だと思いますが、この企画はぜひ今後もあると、私のような旧帝国大学や有名研究所以外に所属している研究者にとっては、とても助かる、と思いました。
※	3/4	不要だと感じた
※	4	参加しようと仲間を集めたが、大学の上層部からストップがかかった。大学の業務を宣伝するなどのこと。資金はどうやって調達しているのか不安。
※	1/4	ランチョン時間帯に、空いている部屋を使つてのマッチングイベント企画を、もう少し増やしても良かったと思います。
※	2/4	料理やお酒を取る場所が、テーブルから、遠かった。
※	1/4	企画内容がよくわからなかったので事前には申し込まなかったが、当日飛び込みで参加したところ、案外と面白かった。「マッチングイベント」という名称は若干抵抗があるかも。
※	2/4	オーガナイザーと参加者の交流の場としては良かったが、ミスマッチが結構あったのではないかな。
※	4	気がついたら締切を過ぎていて参加登録できなかった。面白そうな企画だと思うので。次があったら参加したい。
※	1/4	美味しい福井の日本酒をたくさん飲んでよかった。これからも続けて欲しい。

質問20. 分子生物学会では「学会・年会の国際化」を促進しています。そのために、100～200万円程度の予算を学会の特別予算として年会に用いるとしたら、どのような使途がよいと思いますか？複数回答可＞（その他）※MBSJ2025では年会予算約200万円＋学会の特別予算100万円でAI同時通訳サービスを試験的に導入

【回答項目】

1. 海外機関と連携して年会参加者向けの実用的な企画を行う費用
2. 公募シンポジウム等で海外演者を招聘する際の旅費補助増額
3. 海外在住の若手会員へ年会旅費を援助
4. 講演セッションの通訳・字幕サービス等の言語サポート費用
5. その他

回答者番号	回答	その他記述
※	5	優秀な発表者を海外の学会で発表させる
※	4/5	AI同時通訳を利用する機会がなくて残念でしたが、とても良い試みだと思います。ぜひ次回も行なってほしいです。ただし、ポスターの英語/日本語は統一した方が良くないでしょうか。
※	1/5	特別予算の規模から考え、旅費の補助としては効果が低過ぎると感じたので、実効性のありそうな1番が良いと思います。
※	4/5	母国語で得られる情報量、質を超えるものは無いと思いました。海外の方の講演や来場者のために、日本語→英語や中国語等への同時通訳を充実させた方がよい。
※	4/5	今年はオンデマンド配信が廃止されたが、AI同時通訳はオンデマンド配信と相性が良いと感じる。この組み合わせを検討していただきたい。
※	1/5	EMBO以外にもエディターを呼んでほしいです。CNSの姉妹紙くらいのエディターとお会いできたらよりうれしいです。
※	5	学生会員の参加費を下げる
※	2/4/5	AI同時通訳、実際見たわけではありませんが、使っていたと聞きました。非常に素晴らしい方向性だと思います。
※	5	挙げてあるものであるなら、配分はともかくいずれの費用にも賛成します。
※	5	海外招聘シンポジストの旅費の増額
※	4/5	学会・年会の国際化といっても、国際発表の業績にならないんだから意味はない。
※	4/5	重要な基調講演や市民講座などでは、手話通訳があってもいいのでは？
※	3/5	若手会員絵の援助の年数条件が長すぎる
※	4/5	外国語だと母国語（日本語）よりも理解度が落ちるので、AIなどを駆使したコミュニケーションツールを活用する予算としてほしい。学会で英語の発表を聞いただけで英語力がいきなり身につくわけではないので、学生が外国の研究を聞きに行くハードルを下げる方が意義があると思う。
※	3/5	海外著名研究者を招聘する場合、共同研究を行っている/計画している大学等とタイアップして旅費を節約するのが良い。
※	4/5	AI技術の革新など、最新の科学技術を積極的に取り入れることでScienceにおける言葉の壁を克服し、Scienceに興味はあるけど英語が不得手な人や、高校生や学部生など多様な人たちに門戸を拓くことは、今後の日本の科学技術の発展において重要であり、ひいては学会の国際化促進につながるものと考えられる。
※	2/3/5	AI同時通訳は利用こそしなかったが面白い試みであると感じた。
※	1/2/3/5	1. 海外研究者のプレナリーレクチャーの開催に充てる。2. 研究分野ごとに海外にいる優秀な若手研究者と国内の若手およびシニアの研究者どうしの発表、交流の場をつくる。（海外にいる優秀な若手研究者の帰国のきっかけ、あるいは、草の根的な今後の国際交流に繋げる）
※	4/5	言語のサポートがあると自分の専門分野のテーマでなくても参考になる講演に英語が使われていると理解の助けになるので
※	5	国内の参加者のために使うべき
※	3/5	3の理由：non-PIが海外から一時帰国しようとする基本的には自費で大きな負担なので、ぜひサポートしてあげてください。
※	1/2/5	meet the editorをしっかりと招聘していただけるとありがたいです。
※	5	計算科学的な手法について簡単なハンズオンセミナーがあると嬉しいですが
※	5	私は利用しなかったが、ネット環境（パシフィコのフリー Wifi）が全く使えなくてAI同時通訳が利用できなかった、という意見をきいた。
※	5	なんだかんだ言って日本語の方がやりやすいです。せっかく日本に帰ってきてまで、英語で議論しなくてはならないのは面倒です。日本に来てもらうという発想よりも、海外派遣賞を設けて、優れた発表をしている若い研究者をみつけて、海外の学会に派遣する費用に当てたらどうでしょうか。
※	2/5	円安と物価高の影響で、国際学会へ参加できる機会が激減している現状があります。ゆえに、海外演者の招聘を推進して、参加者が広く利を得るような使途にしたいです。
※	2/5	3と4に関しては国際化促進に結びつくのだろうか。
※	1/5	海外演者のバーチャル参加をサポート。対面の利点はあるが、コストを考えると、バーチャルで十分。来てもらっても、そんなに交流とかしてないし。ただ日本を旅行してもらうだけのために学会員のお金を無駄にすることはない。
※	2/5	海外在住の優秀な人材なら日本の分子生物学会に来ていいと思います。直近で実績のある方だけをシンポジウムに呼ぶなら、その予算を使用して良いと思います。ただし、日本のポスドクや大学院生の参加を促すことを優先して（例：参加費を抑える）、海外機関との連携や海外若手会員の旅費は最小限にするのが今のトレンドだと思います。
※	5	トークの会場が狭すぎて部屋にはいられないものもあれば、スカスカなのに広い会場が割り当てられていたり、適切な配分ではなかったと思われる。立ってプレゼンを聞くのは辛かった。またちょっと休憩のための椅子が少ないとも感じた。
※	5	今後益々進化するであろうAIによる同時通訳を全てのセッションで標準とし、参加するあらゆる国の研究者が母国語で発表可能な、世界初「言語の多様性を遵守する国際学会」として世界をリードしてほしい。

質問20. 分子生物学会では「学会・年会の国際化」を促進しています。そのために、100～200万円程度の予算を学会の特別予算として年会に用いるとしたら、どのような使途がよいと思いますか（複数回答可）（その他）
※MBSJ2025では年会予算約200万円＋学会の特別予算100万円でAI同時通訳サービスを試験的に導入

【回答項目】

1. 海外機関と連携して年会参加者向けの実用的な企画を行う費用
2. 公募シンポジウム等で海外演者を招聘する際の旅費補助増額
3. 海外在住の若手会員へ年会旅費を援助
4. 講演セッションの通訳・字幕サービス等の言語サポート費用
5. その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	5	そんなに国際化したいのなら、国際化したいシンポジウムだけを海外のどこかで開催すれば良いのでは(もちろん英語で)。それ以外のほとんどの国内開催シンポジウムは日本語で良い。
※	2/3/5	国籍は問わないが、海外でより先端的研究をしている人の招聘や、交流を促すような企画を積極的に実施すべき。国際化、という割には日本の中で回しているような印象を受けた。今の時代、むしろ通訳は不要ではないか。
※	3/5	日本の研究者を支援する必要があるから。
※	5	英語を増やすのは反対。別の形でやって欲しい。内容を理解するのはまずは、重要。多くの人に勉強にならない。
※	2/5	海外演者を呼ぶ際に、15万円だと交通費が十分でない。ヨーロッパ、アメリカから呼ぶ場合にもう少し出してもらえると助かる。
※	4/5	AI同時通訳は言語の障壁をかなり下げたと感じた。
※	5	海外で14年研究をしていました。帰国してからよく聞く単語ですが、「国際化」の重要性がわかりません。ただ、どうしても促進したい場合、日本人のつたない英語力に不安を感じます。年会会場に、英語でサイエンスについて話ができる英語カフェなどを作り、英語で話す機会を増やすのはいかがでしょうか。もしくは、生成AIなどを活用した英語会話力向上ツールに関する広報活動など。
※	3/5	海外に散ってしまっている研究者を日本に呼び戻すのに最も必要だと思います。
※	1/5	個人に渡すよりも、会全体をアップグレードすることにする方が良いと思います。
※	5	招待に使用してもいいが、Zoomでの参加でも十分で、その謝金でも良いと思います。
※	5	AI同時通訳が使いにくいので人間の通訳が良いあれで100万は高い。人間を雇った方が有意義
※	1/4/5	国際化といっても、どの様に促進させるのかというのがイマイチイメージしづらいです。そのため、海外の研究手法など触れる機会が増えればどの様な点で同じ・異なるのかイメージしやすくなるのではと思いました。また、普段あまり馴染みのない異分野の話を聴きに行ったとき、専門用語の聞き取りが出来ず、進んでしまったこともあり、この点が気になりました。

質問22. 今後の年会の開催形式について＜複数回答可＞（その他）

【回答項目】

1. オンサイト開催を基本としたハイブリッド開催がよい(MBSJ2024福岡年会形式)
2. オンライン先行プログラム＋コンパクトな完全オンサイトの併用がよい(MBSJ2023神戸年会形式)
3. 完全オンサイト開催がよい(MBSJ2025横浜年会形式)
4. 完全オンライン開催がよい
5. その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	5	全てでなくても良いのでオンデマンドもあると良いと思った。
※	1/5	オンデマンドができる時代ですから、自身や学生の出張旅費も考えて欲しい。
※	1/5	聴講希望者に対して明らかに会場規模が小さいセッションが多かった。小さい会場ほど参加者が多く、大きな会場ほど参加者が少ない場合が多々あった。難しいかもしれないが、参加者数を予想して適切な会場割り当てをして欲しい。
※	1/4/5	ハイブリッド開催！これだけ大規模なので、九州か神戸で開催してほしい。
※	1/5	横浜なのでオンサイト開催に出席できましたが、これが地方になるならば、オンラインも許容してもらいたいです。
※	1/5	完全オンサイト形式にする意図は理解できるがさまざまな事情からオンサイト参加できない人への配慮もあったほうが良い。
※	3/5	オンラインだと研究情報の漏洩などが心配。オンラインで学会に参加しても何も残らないことが多いので完全オンサイトで良いと思う。もしオンラインも残すとすれば、学会とは別に分生生物学会のシンポジウムを別日に設けて、それはオンラインで学会員だけに配信すれば良いと思う。
※	3/5	オンサイトの学会は、普段の研究生活では見聞しないような研究に偶然出会う場としてとても貴重な機会になっています。よって、その良さを生かすことが年会開催自体の意義につながると考えます。
※	1/5	昨年の福岡では、シンポジウム会場が混んでいて部屋に入れなかったときでもロビーなどでシンポジウムを視聴することができ、とても便利だった。できれば次回以降もハイブリッドで開催していただけるとありがたい。オンサイト参加者とオンラインのみの参加者で参加費用を変えるのもアリではないかと思う。
※	1/5	関心のあるワークショップの重複に毎回困らされるため、一部オンデマンド配信、もしくはアーカイブ配信は欲しい。
※	1/5	オンデマンド配信は欲しい。登録制でも良い。シンポジウムが重なるなどで十分に聞けないため。
※	1/3/5	科学者同士の交流を考えると完全オンサイトが良い。ただスケジュールの問題などでオンサイトに参加できないときに、オンラインで木になる演題を聞くことができるのはありがたい。また、オンラインだと会場間の移動時間を考慮する必要がないことも利点である。
※	1/5	Q7でも記述したが、会場に入りきれない場合に、オンラインでの配信もあればシンポジウムの視聴が可能となるのでありがたい
※	1/5	人が多くて会場に入りきれないから配信もあると助かる。
※	1/5	会場に入れないときに来年は学会に参加しないと思ってしまう。そのため、オンライン配信も望む。
※	3/5	学会は本来、ON Site のみ、でやるべきだとおもいます
※	1/5	オンサイト開催の年会において、子供の具合が悪くなって急遽参加を取りやめたケースがあるので、保険的にオンライン発表・参加が可能な状態が望ましい。
※	5	金銭的理由や研究状況により毎年参加は難しい状況が続いている。年会費は払い続けているので発表者が許可したシンポジウムなどは後日会員がオンデマンドで聴けるような対応があると嬉しい。
※	1/5	教育関連の仕事や実験の都合上、全日程に参加できないことがありますので、一部オンラインでの開催をしていただけると助かります。
※	1/5	各発表を録画して、後日公開でもよい。ハイブリッド開催の場合は、質疑はオンサイトだけに限定する等でも良いと思う。ハイブリッド時のように、同時間の見れない講演がなくなるのはありがたかった。
※	1/5	オンサイト開催の方がやはり活発な議論を行いやすいので、基本はオンサイトが良いが、ライブイベントや諸事情によりオンサイト参加が困難となる方もおられるため、一部のシンポジウムだけでもハイブリッド化できる余地があると良いように思う。
※	5	開催都市や会場を考慮して、柔軟に対応すべき神戸、横浜、福岡ばかりは？
※	3/5	現地での交流が目的なので、コロナ禍を抜けた後は、オンサイト開催でいいのではないのでしょうか。
※	3/5	未発表データも発表することがあるので、オンデマンド配信やオンラインにする場合は、事前に発表者に確認を取る必要がある。その点では、オンサイト開催の方が安心して発表できる。
※	1/5	オンデマンドは不要だが、入りきれない部屋が多かったので配信はして欲しかった
※	5	完全オンサイトが良いと思うが、それとは別にオンラインの企画や、目玉のシンポジウムはオンラインで配信する等あっても良いのではないか。
※	5	完全オンサイトのほうが未発表データを出しやすくていい
※	5	基本はオンサイトで良い。ただ、分子生物学会は規模が大きく、また当日に会場に入れない程、混雑するセッションもあったりし、聴講できないこともある。同時ハイブリッドまではしなくても良いが、オンデマンド配信があるとタイムテーブル上などで聞けなかった講演が聴けるので助かる。
※	3/5	オンサイトでしかポスターセッションは盛り上がらない。オンサイトでしかできないmeet the expert sessionを作っていただけるとありがたい。
※	1/5	今般、旅費の捻出等について厳しくなっており、遠くの学会は発表しないと旅費が出ない等があります。学会日は自腹で何とかできるけど、旅費を出してまで参加できないという事があるので、ハイブリッド開催を希望します。
※	1/5	オンサイトで、聴講したい発表が被っている場合、オンデマンドやハイブリッドで後日聴きたいため
※	1/5	オンサイトでは聞きたいセッションが複数の会場でまたがっていることが度々あり、移動に大変な労力を感じた。一方で、オンラインでは聞く場所の確保や通信環境について問題があるように感じる。
※	2/5	混雑した会場ではスライドの下がぜんぜん見えないなど、困る面もかなり多かった。
※	3/5	オンサイトの場合にオンラインやオンデマンドを導入することで費用が嵩むくらいなら不要だと考える。同様にオンラインでやるなら完全オンラインでやるべきだと思うが、研究結果の秘匿性などを考慮しなければならない場合は無理だと考える。

質問22. 今後の年会の開催形式について＜複数回答可＞（その他）

【回答項目】

1. オンサイト開催を基本としたハイブリッド開催がよい(MBSJ2024福岡年会形式)
2. オンライン先行プログラム＋コンパクトな完全オンサイトの併用がよい(MBSJ2023神戸年会形式)
3. 完全オンサイト開催がよい(MBSJ2025横浜年会形式)
4. 完全オンライン開催がよい
5. その他

回答者 番号	回答	その他記述
※	1/2/5	オンデマンドで後から見れるとありがたい。同時進行で聞きたいのがたくさんあるし、少し見てみて、すぐやめるか、最後まで見るかのチョイスもあるとありがたい。会場を移動することを考えると面倒だけど、クリックだけならチョイスが広がる。
※	1/5	朝や夜のセッションはオンライン可能にしていきたいです。
※	5	時間帯が重複して聞けなかったシンポジウムなどを後から聴講できるようなシステムがあると良いと思いました。
※	5	海外在住者がオンライン参加できると、国際化がより進むと思う。
※	1/5	オンサイト開催を基本とするのは良いと思います。オンデマンド配信があると学会後、落ち着いて講演を拝聴できるので良いかと思いました。
※	1/5	ポスターはオンラインだと見る方もしんどいので、シンポジウムやフォーラムだけオンラインでも聴講できるといいと思った。実際会場に行っても、聞きたくても会場が一杯で入れないセッションもあるので、そういう場合にも他所でもオンラインで聴講できると便利。
※	3/5	基本的にはオンサイト開催を支持する。ただ、夜のセッションはオンラインで参加可能にしてほしい。
※	5	どれもいいところ悪いところがあって楽しめたので、どうでもいい
※	3/5	ポスターは少なくともオンサイトのみにするべきだと思います。論文に投稿してないデータを載せたい発表者もいると思うので。
※	1/5	シンポジウムによっては、会場が満席・ドア付近からの参加もできないものがあつたため、シンポジウムはオンラインも併用した方がよいと思いました。
※	1/5	仕事の都合で全日参加が難しいため、オンデマンド配信があるとありがたい
※	1/5	朝と夕方のセッションは必ずハイブリッドにして、子どもがいるなどで家を出るもしくは帰る時間に制約がある人が聴講できるようにしてほしい
※	1/3/5	実際に直接公演を聞けることは非常に嬉しいが、時間や日程的に会場に向かうことが難しいときにオンラインで拝聴できるとありがたいと思ったから。
※	1/5	前回までのハイブリッド開催が望ましいと思います。オンラインも可能であれば、学会への参加の自由度が広がると考えます。
※	2/5	バーチャル学会
※	1/3/5	フロアが溢れて聴けないセッションがあり、小さめの会場では廊下のモニター設置を増やしたり、オンラインも併用していただけたらよいと思う。
※	1/5	様々な理由でオンサイト参加が叶わない場合や、体調が悪く午前のセッションはホテルで聴きたい等の場合に、オンラインもあると大変有意義です。また、並行して行われるセッション数も多く、聴きたい講演が重なる場合もあるため、一週間を目処にオンデマンド配信があると助かります(許可した演者のみでも可)。
※	1/5	対面形式が重要なことは承知しておりますが、会場の都合上どうしても室内に入りきれないことがあります。狭い会場には廊下にモニターを用意いただいておりますが、それでも20人ぐらいが限界だと思います。費用面の問題があると思いますが、狭い会場のセッションだけでもオンラインやオンデマンド方式を併用していただければと思います。
※	5	併走プログラムが多いので、オンデマンド配信があるとありがたい。
※	1/5	初日、同じ時間帯で違う会場を聞きたいので移動しました。移動が面倒なうえに、移動した先では立ち見で外のモニターを見るしかない、という状況でした。ハイブリッドなら快適にどちらも聴講できたのになあと思いました。また、2日目から体調を崩したので、ホテルからオンライン参加できれば良かったなあと思いました。
※	1/5	基本的にはオンサイトで良いが、興味のある講演の開催時刻が被ってしまい一方が聴講出来ない場合や、会場が満席で入れない等の際に、オンデマンド配信(又はライブ中継)があると便利だな…と感じる場面がある。
※	2/5	オンサイト参加者としては大きな違いはなかったので、経費との兼ね合いの良い方法が良いかと思います。

質問23. 今後の年会における他学会との連携について＜複数回答可＞（その他）

回答者 番号	その他記述
※	毎回合同学会だと日本分子生物学会の個性が薄まる気がするので、たまにで良いと思います。
※	連携・合同の年会開催の利点は大きいと思います。一方、この方式では参加規模が拡大して開催地の選択肢が少なくなってしまうので、より多くの会員・地域のためにもバランスをとるのが良いと思います。
※	他学会との合同でこれ以上年会の規模を拡大することは反対。現状でも同時進行で聞きたいシンポジウムがいくつもあるので大変迷惑している。もし行うのであれば会期を延長すべき。合同学会を行うメリットはなにか？単に足し算にしかかっていない。行うならば一つのシンポジウムの中に混在させて、その後にパネルディスカッションを行うくらいの拡大をしてほしい。
※	第50回は、第100回の生化学会と同様、単独開催になると思います。
※	他学会からの申し入れがあれば、適宜受け入れたい。
※	生化学会と統合してほしいです。
※	どちらでもよい。
※	コンソーシアム形式のほうが、異分野との出会いがあったと思います。
※	都合が合えば、連携して開催するのもいいと思いますが、無理に合わせる必要もないと思います。
※	他学会と連携していたことに、最後まで気がつきませんでした。
※	日本分子生物学会そのものの規模が拡大しすぎていると思うため、他の学会と合同開催する価値をあまり感じない。
※	分野が広がりすぎる難しさを感じました。
※	分子生物学会自体、さまざまな分野が合同でやっている感じがします。合同だと期間も長く参加費も高くなります。
※	連携するのであれば、他学会の会員を半分入れたシンポジウムなども企画すると面白いと思う。連携することでどのような学術的価値を生み出せるのか、参加者にも考えさせるようなセッションにも取り組むべき。
※	他学会との連携企画の場合、海外からの講演者を招聘する際に、旅費等を自分たちの研究費で賄わないといけないうえ、招聘できるかどうか金銭的な制限がかかる。海外の優れた研究者を招聘し、学生やポスドなど全ての研究者が学ぶ機会を増やし、留学や国際共同研究に広がっていくようにするために、金銭的な制限を最小限にするために、分生生物学会からのサポートが必要。
※	あまり連携していることを感じなかった。
※	生化学会と分子生物学会は毎年合同にしてみたい。似た時期に2回行くとどちらかにしか参加できない。
※	特定のテーマを複数の分野から考えるコンソーシアムのような企画があれば、他学会との連携の意義がさらに増すと思います。
※	学会の数を減らすためにも、どんどん連携して潰していって欲しい。
※	連携して何が変わったのかわからないので、どうでもいい。
※	今回生物物理学会の会員として参加しました。私の今の研究内容や研究経歴を鑑みて、分子生物学会の方が合っていることを感じました。キャリアの参考になるので、合同大会はあった方が学生にとっていいと思います。
※	各学会の色やテーマに基づいて各学会で独自に年会を開催すべき。参加者が多くなる一方でシンポジウム等が少なく、会場も狭すぎた。
※	これは難しいですね。どの学会との相性がと言うより、合同で行うメリットをどこに置いて、会員に享受できるかです。
※	生化学会との連携は会期が延びてよくない生物物理学会との連携は分子生物学会にメリットがないから反対会期三日の単独開催がベスト。
※	合同開催が増えると、一方の正会員を辞めることにつながると思う。
※	一般の方には、研究者は学会に行き遊んでる。と思われているらしい。学会は減らした方がよいのではないかなと思う。
※	基本的に分生は何でもありだから、合同はいらない。もしやるなら、いっぺんにもっとたくさんの学会とやったらいい。ほぼ全ての生命科学系と一緒にとか（医学はいらない）。
※	単発の年度限定学術会議レベルではなく、生化学会と完全なる融合一体化が望ましいです。その場合は「日本生化学分子生物学会」または「日本分子生物化学会」等名称、委員会、学会誌全て統合する必要があります。それが調和のとれた学術を進めるための第一歩となります。どうぞ時間をかけてご検討ください。
※	学会が多く、同じような人が同じような発表を違う学会で行っているのを見かけます。年会はできる限り合同にしたほうが合理的ではないか。また、研究費が目減りする昨今、年会への旅費も高額で大変である。
※	ただでさえコンカレントセッションが多いので、連携すると聞けないセッションが増えてしまう。
※	分生しか参加するつもりがないため。
※	合同年会にするとどんなメリットがあるのか明示すべき。
※	現在の分子生物学会単独年会でも多くの演題数があり、十分充実していると感じるため。これ以上並行演題数が増えると、聴講したいシンポジウムに行けない可能性が増すと考えるため。
※	研究者人口、企業の支援率とも減っており、合同開催や同時開催を増やしていくのが現実的。
※	来年は同じ横浜で生化と合同年会と伺いましたが、弊社の商材は生化学研究者に合わないため、合同のメリットが享受されません。協賛費が上がるようですし、弊社としては単独開催がありがたいです。

質問24. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	会場が暑過ぎて苦痛でした
※	ランチョンの事前登録期間をもう少し長くして欲しい。
※	〇〇のランチョンセミナーで、木村 宏さんが科研費の金額増額を訴えておられた。それ自体は大変意義のあることで継続すべきだが、科研費が増額したら、すでに成果が出ている研究者の方が恩恵を受けやすい(先立つものがあるから)ので、採択率を上げたほうがベースアップにつながるのではないのでしょうか。やっтерことは選択と集中と同じと思われます。また、学振の増額など、若手に対する支援を拡充したいとのことですが、相対的に研究環境が良くなかった4-50代へのサポートは薄いものと感じました。
※	この学会は異分野を勉強できる貴重な機会ですので日本語中心の学会を堅持してほしい。癌学会は英語主流となり、少し離れた分野でも理解が難しくなった。国際化は小さな専門学会や研究会に任せれば良い。また、早期と通常2万の参加費の差が大きすぎです。
※	Wifiが全く使えなかった。アクセス数が多かったためらしい。
※	Wifi、大事なのですが、全然繋がらなかった。コンピュータなどチャージできると良い(電子要旨にするなら尚更)
※	幕張でなく横浜での開催になっているのは、参加する側としてはとても助かりました。年会長をはじめとする関係の方々のご尽力に感謝いたします。会の規模が大きくなり、異分野の方の話に接する機会が限られてしまっているように感じます(同時に身近な分野のシンポがあるとそちらを優先してしまう)。バイオ系の人が一室に会するせっかくの機会なので、見聞を広めやすくする何か良い仕掛けはないのかということを考えてしまいます(具体案はありません、すみません)
※	展示会場に関する情報(参加企業・団体の一覧、展示ブースの位置・地図)を早めにpdfでダウンロードできるようにして欲しい。(当日、展示会場で印刷されたマップで初めて知るのには不便を感じた。展示ブースを効率的に回ることが出来なかった。)
※	最近ではエー・イー企画さんにプログラム設計をお願いしているのでしょうか。非常に使い勝手が悪いです。確かに冊子の要旨集だと、重いし、持ち運びに不便な点はあるとは思いますが、それでも今よりはずっと要旨を読んで考えることができていました。また、感覚的にどこを見ればすぐに何がわかるという一目瞭然の便利さが冊子にはありました。今は何をどうしたら、自分の希望するものがすぐに出てくるのか分かりません。非常に不便を感じています。何もかも検索しないに出てこない仕様は良くないと思います。
※	パシフィコ横浜のWifiが先着1500台しか繋がらず、スマホ端末の密集度が高いせいでキャリアの電波も繋がりにくい状況で、全く仕事にならなかった。AI翻訳などというくだらないサービスではなく、パシフィコ横浜とは独立の分子生物学会のパスワード付きのWifiを設置するための本当に必要なサービスに費用に回すべき。AI翻訳が必要な人間は自分のスマホで勝手に各自でアプリを使えば良い。アプリで録音されることを心配しているのかもしれないが、録音しない翻訳アプリを推奨しつつ、アプリで翻訳しても良いが録音はしないでください、と呼びかけ続けるしかない。どれだけ呼びかけしても録音する人間はどんな状況でも隠れて録音をしてしまうので、防ぎようがない。
※	口頭発表ですが、残りの発表時間が演者からも見られるようにして欲しいです。また発表後の質疑の時間で、会場の照明を点灯することには賛成しますが、スライドは消して欲しくありません。
※	ネット環境が悪すぎた
※	キャリアパス委員会のランチタイムセミナー(3日目)に参加しました。第一線でご活躍の先生方から学生や若い研究者に有益なアドバイスが多々あったと思います。ただ正直に言わせていただくと「生存者バイアス」という印象も強かった。色々あったけど結果オーライな現状の先生方ばかりだとどうしても意見が部分的で偏っている印象を(おそらく学生達も)受けます。実際アカデミック以外の職種に就かれたパネリストはいらっしゃらなかった様です。かくいう私はポスドク13年間やったあと結局アカポスに就けなくて失意の中公務員として働いた経験がありますが、この様な(失敗例)もいくつか挙げた上で学生に参考にしてもらうのがいいと思います。もっともこういう赤裸々な(失敗例)を目にすると学生はアカデミックの道に進まなくなるかもしれませんが。
※	最後の一般市民公開をオンサイトではじめて拝見しました。動画ではわからない臨場感がわかり若い人へのサイエンスに対する興味を促すという趣旨がわかりました。音楽ライブをYouTubeだけで見ていたので実際を確認しましたが不思議な一体感がありました。最後で司会進行をあえてはずす音楽演出がありました。平成の音楽バラエティを彷彿させる懐かしい演出で面白かったです。あれも演者たちの一体感がないとかなり難しいことだったと感じます。これからも続けてほしいと応援したくなりました。
※	研究倫理について、巨悪の存在から目を背けるな。続けるなら、〇〇〇問題、〇〇〇問題の最終解決をせよ。
※	例年、最終日の午後は企業ブースが撤退していたように思うが、今年は最後まで残っていたのが良かった。座長席にスクリーンを写すモニターがなかったのは経費削減? 座長席からスクリーンが非常に見えにくかったのもう少し位置を工夫してもらいたい。関連して、演者にも持ち時間を示すランプや時間表示がなかったように思うが、経費削減のためか? また座長席にそのシンポジウムの演者と演題名ぐらいは印刷しておいて欲しい。
※	市民公開講座の開催意義は、今回の結果を踏まえて十分に検討すべきだと思います。「未来の研究者集まれ!」という設定に対し、どれだけ効果があつたのか大いに疑問です。一般市民や若い会員が何名集まったのか心配です。バンド演奏もシニアメンバーばかりで、若者たちも参加できるように工夫の余地があつたのではないのでしょうか? 私のような年寄りから見ても、若者度外視で好き勝手にやっているだけのようで、白けてしまいました。シニアメンバーは「未来の研究者集まれ!」と旗振り役に徹するのが良かったらと思います。
※	規模が大きいので、多岐にわたるテーマを横断的に聴講するのが難しいです。ポスター発表も小さな疑問をうかがえる機会として、楽しんではいませんが、演題数が多くてなかなかすべてを回るのが難しいです。日程を長くすれば、経済的負担も大きくなってしまふので、難しい問題だと思います。
※	ネットワーク環境の整った会場での実施だと助かります。今回、Wifiは接続人数が多くなるとつながらなくなり、モバイル通信に切り替えても部屋によっては接続が非常に不安定でした。みなさんPC、スマホを持ってこられるうえにプログラムはアプリ、同時通訳アプリ使用、などなど、ネットワークにつながることが前提の運営体制になっていると思います。会場の設備の問題もあり難しいところとは思いますがご一考ください。あと、ランチョンセミナーのお弁当は去年の方が美味しかった...

質問24. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	昨年は要旨閲覧システムの公開が予定時期から延期されたのに対し、今年は非常に公開が早かったように感じる。サイトについて強いて不満を挙げるなら、特定のブラウザで年会サイトを開くと即座にログアウトするという問題は解決策を勘案したとしても煩わしかった。口頭発表会場の入り口のモニターでその日のワークショップと演題が順番に表示されるのは便利に感じる人もいたかもしれないが、表示時間が短い上に字が小さかったため、それよりは従来のように終了した演題にシールを貼る方式を支持する。
※	ネット環境が悪かったことが問題。企業もスタンブラリーと自社のアンケートの両方をウェブベースで行っており非常に煩雑だった。入力や接続のみで終わってしまい、その対応をしている人は商品のことを何も知らないような人を配置している企業も多く、入力に注力させる印象が強く不快だった。駆り出された企業の人も畑違いで気の毒に思った。お互いに嫌な思いをした。商品の説明などは十分聞けなかった。名刺ではダメだと言っているところもあるため、参加者にも自分の所属などの入力をスキップできるようなQRコードを発行してもらいたい。
※	とにかくFreeWiFiがほとんど繋がらなかったのが不便でした。これだけの人数が一斉にアクセスすることになるので、アクセスポイント数を増やしていただきたいと思います。
※	多くの知り合いもできて、大変有意義な年会でした。マッチング企画は今後も続けてもらいたいです。
※	収容人数が少ない部屋でも、インパクトが強い発表はいつも立ち見になる程大盛況でなかなか入れないことが多々あった。入れなかった場合はzoomでの配信があればありがたいと思った。
※	参加人数に比して会場が狭かった。
※	学会自体も日本の一流の研究者が集い、非常に勉強になると感じましたが、企業展示や市民講座などについても非常に充実しており、大いに刺激を受けました。遠方からの参加者に配慮したものかと思いますが、1日目午前、3日目午後には例外的な内容のセッションが入っていて、その他の時間では、内容のかぶるセッションが平行で進行していて、いくつかに聞けなかった演題がありました。他の学会でも同じような構成になっている場合が多いとは思いますが、できればもう少し均質化していただけるとよりよいかと思いました。
※	昨年、数年ぶりに参加したんですが、かなりがっかりする部分が大きかったです。一方で、今年は改善されていると感じました。前回はアンケートに書いたのですが、各シンポジウム終了後に、発表者と参加者が公に話す機会があってもいいかなと思います。たとえば10-20分間など。すぐに写真を撮ったり、会場移動したりとものすごく感じました。
※	ポスター会場に、(企画のためとは思いますが)多くのデスク・椅子が設置されていたのは有り難かった。今後も数多く設置してもらえたらありがたいが、可能であれば、コンセントも数多くあると尚良い。
※	発表内容の専門性が高く、他分野の研究者では理解できないことが多いということが鮮明になってきている。学会そのものを分割すべき時期ではないか？とにかく大きすぎる。
※	ノーベル賞受賞者クラスの研究者による、プリナリー・レクチャーがあってもいいと思う。
※	今年の取り組みは良かったので、続けてほしい。
※	プログラムを詰め込みすぎポスターのプログラム区分が、申し込み時点のものとずれていたのでは？ポスター賞は不要
※	今年の学会では会員にならなくても学会発表を可能としていたと思うが、単年度会員などの身分を作ることで単年度でも会員となってもらった方が、金銭面は別にして学会の発展にとってはプラスになるように思いますが、検討されてはいかがでしょう？
※	不必要な企画が多い。その分参加費を安くしてほしい。
※	事前登録を増やしたい意図は理解できますが、当日参加費が高すぎたと思います。年末の予定が立て込んでいる中でも、1日だけでも参加したかったのですが、差額が大きすぎたと思いました。
※	公募シンポジウム枠が多くて良かったと考える。指定シンポジウムのみでは、カバーしきれない秀逸なシンポジウムが多いと感じる。
※	今後とも、宜しくお願いします。
※	時間帯が遅すぎる。日帰りの立場も考えろ。安易に値上げをするな。毎回、アンケートへの返答を求めるが、反映されている気がしない。早く、生化学会と合併し、1つの学会になってください。
※	普段、馴染みがなかった研究分野に関心があり、今回の学会では、それらの研究に関する情報をたくさん得ることができました。他学会との交流・連携はよいと切実に感じました。
※	感じたことを率直に書きましたが、全体としては、新しい試みもあり、とても素晴らしい年会でした。委員の先生方に感謝いたします。
※	日本酒試飲コーナーは良かったと思います。ポスター発表の時間に、ソフトドリンク、軽食無料コーナーを設けるなど、よりポスター会場に人が集まり議論が活発になるような仕組みがあればいいと思います。
※	スタンブラリーは、スタンプ集めを目的に回る人が散見され不快。もっと協賛企業がどのような展示をどの場所で行っているのか、分かるように提示してほしい。
※	パシフィコ横浜のWiFiのキャパシティが足りず、接続できないことが多かった。来年度も同じ場所で開催予定ということなので、この点は改善していただきたい。少なくとも最終日のポスターの時間帯は早めにしないと、多くの参加者が帰ってしまうと思われます。
※	コンサートのような、おちゃらけた企画はやめて欲しいです。学会を愉しむという雰囲気と、学芸会とでは、全く違います。学会が所属する場所として楽しく、また来たいという気持ちを醸成するイベントは大事です。でもそれはふざけるからではない。サイエンスを愉しむべきです。
※	オープンに議論できることが、本学会の特徴・長所であるので、これから色々な階層が参加できるような学会であるといい。また、上下関係もどんどん壊していくと良い。年齢の上下関係、職位の上下関係、大学・企業・企業の上下関係、日本・ノンジャパニーズの関係を、どんどん壊して、オープンでクリエイティブな環境を作っていくといい。
※	毎年色々と変化を加えつつ試している学会でとても良い。若手研究者や学生が口頭発表する機会をもっと増やしてほしい。今年度はポスターからのシンポジウム登用がある一方で採択率の低さが問題だと感じる。またサイエンスピッチなどの機会も増やしてほしい。来年度の年会はサイエンスピッチはあるが、ポスターからシンポジウムの採択がないのは非常に残念だと思った。シンポジウムに呼ばれるような既に活躍中の研究者に機会を与えるだけでなく、これから活躍しそうな研究者や学生に機会を与えてボトムアップにつながる様な学会にしてほしい。
※	昼食の弁当がもう少し量が多いと助かる。
※	某氏によるライブ演奏に、学会の私物化を感じるもうやめてほしい

質問24. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	it will be nice to have more bioinformatics representation or having those tals together so it become easy for people from dry labs to attend
※	Wifiが繋がりにくく困りましたので、可能であれば改善して下さると助かります。
※	このゆび企画はこれまで話すことのなかった方々と出会うことができたので、今後も継続してほしい。学会の要旨をネットで検索する必要があるが、会場の電波が悪く、またfree-wifiも繋がりにくいため、特定のテーマや個人の検索が困難であった。また、英語同時翻訳も通信速度の問題で、とても利用できるレベルに達しているとは思えなかった。
※	運営に当たられた皆様に感謝いたします。
※	私自身は久しぶりに分子生物学会に参加して、対面の学界の良さを実感した。ただ、ポスター発表が多く、なかなか全体を見切れないので、ポスターセッションの時間を多めにしてもらえると良いと思う。
※	私は分子生物学者ではありませんが、毎年年会の研究倫理とキャリアパスのセッションは他分野の者にとっても大変勉強になります。これからも続けていただきたいと思います。
※	Wi-Fiが全くつながらないのが大変困った。端末数1500は少なすぎると思う。会場で少し仕事をしたいと思ってもできなかったため、他施設に行っていた。
※	基本的には、開催者や学会参加者の多様な意見が反映された学会が望ましいと考えます。学会のあり方や参加者の要望は年々変化していくものだと思いますが、その変化を踏まえながら、参加者がより有意義で充実した時間を過ごせるような運営方法を、斬新な取り組みも含めて模索していただければ幸いです。
※	今回の横浜会場は、パシフィコ横浜と展示ホールが直結しており、みなとみらい駅も近く、コンパクトに動けるのが良かったです。ショッピングモールも近く、途中、カフェなどで息抜きでき、頑張って参加することができました。キャリアパス委員会のランチタイムセミナーは、若手からベテランまで参考になると思います。続けてほしいです。
※	とても有意義な学会に参加でき、感謝しています。開催地は、十分な広さの会場を確保するという課題はありますが、可能な限り全国をまわる形が良いかとは思いました。
※	本年も有意義な年会を開催いただきありがとうございました。
※	非会員の当日参加費が高すぎると思います。正会員の当日参加費と揃えるべきです。分子生物学会の裾野を広げるためには間口を広げておいた方が良いでしょう。少なくとも30~40年前の分子生物学会では、会員と非会員の当日参加費に差はなかったと記憶しております。なお私は正会員で40年やってきている老兵です。
※	今回インフルエンザ流行が先行していたこともあり、私も学会後に発症しました。完全オンサイトにするのであれば、換気や手指消毒のしやすい環境を設定していただきたい。流行度合いによってはマスク着用の義務化なども検討いただきたい。
※	パシフィコ横浜での学会に初めて参加したが、個人的にはとても快適だった。駅からも建物の中を通っていけるので、雨の日などでも快適でした。
※	ありがとうございました。
※	〇〇〇の皆さんが内輪で盛り上がる会なのかを感じる場面がありました。
※	出展ブースが150を超えており、全部回るのが難しかった。ポスター見ている時に動線が同じだと見やすいが難しかった。
※	ランチョンセミナーで、抽選に受かってチケットをもらったにも関わらず、会場に行ったら弁当を配り終わっていたのがあった。こういうのは止めて欲しい。
※	会場の広さやサイズ感から難しいかもしれないが、ポスター会場のmapについては大きすぎて持ち歩いて見るのに難儀した。mapがないと該当ブースを見つけるのは難しかったので、小冊子に分割したものを載せられたらそれでも良かったかもしれないと感じた。また、ポスター発表を行った身としては、もう少し発表者への案内が欲しいと感じた。発表時間に向けてどのくらいの時間に集合するかや、黄色いリボンの使い方などの案内をもう少し行っても良いと思う。特に黄色いリボンに関しては存在を認知していないものや使用方法がわからず活用できていない方が多数派と言える状態であったと思う。
※	致し方ない部分もあるが、会場が混雑するセッションもあり、聴講できない場合もあった。演題から予想される来場数を試算して部屋の大きさを考慮する必要、またはオンデマンドで後でも聴講できるシステムが必要かと思った。
※	日本の科学の底力を感じました。政策提言にすぐに繋げるのは難しいと思いますが、こんな元気に科学を語る情熱的な若者が、ポストや給与の問題で悩まされているのが不憫でなりません。どうか今後とも、会の運営を頑張ってください。分生は希望の光だと思っています。
※	会場のWifi環境が非常に悪かったので、事前にお知らせいただくと助かると思いました。
※	ポスターを後ろに持ってきたのは有り難かった。一方で、体力、集中力の面で、普段よりもやや盛り上がり欠ける印象を受けた。しかし人の密集はこれまで程には感じなかったので、次回以降もこのようなタイムスケジュールで実施していただくと助かる。また、分子生物学会から数ヶ月に1度送られてくる雑誌は廃止してほしい。これだけオンラインでのやりとりが主流になっている時代にあの冊子の利用価値は全く持って不明である。個人的には不要と思える。冊子をオンライン化し、そこで生じる差金をぜひ別のところに活かしてほしい。
※	パシフィコのフリー Wifi が初日の最初だけ使えたが後は全く使えなかった。私は自分でポケット Wifi を持っていたが、パシフィコのWifi に頼らざるを得ない場合は全く使えないので、有料でポケットWifi を貸し出すなどのサービスがあったほうが良いように思います。マッチングイベント”この指とまれ”のオーガナイザーをさせていただきましたが、事前予約されていない方が多く集まり、たいへん有意義な情報交換、人脈の構築ができたと思います。来場いただいたかたからよかったという声を多くいただきました。
※	初参加でした。総会の出欠について事前にメールが来ていたので企業のイブニングセミナーを途中で抜けて参加しましたが、ガラガラだったので、代理人を問われたのは何だったのかと思いました。
※	予測ができない点はあると思いますが、満席など入れない発表で外にモニターを出していただけるセッションとそうでない場合があるように思いますが、できれば臨機応変にご対応頂けたら、より多くのセッションを聴講したいと思います。
※	キャリアパス委員会のランチタイムセミナー
※	会場でWifiがほとんどつながらなかった。この状況ではオンラインでの配信があっても視聴は難しかったと思います。しかし、アプリはオフラインでも要旨まで確認することができたので良かったです。会場が狭く、入れないところも多かったです。収容人数を増やすか、オンライン配信を希望します。
※	Generally, the conference was well organized.

質問24. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	ポッドキャストを配信したらよい。
※	年会運営に関して諸々のご配慮をありがとうございました。改善要望などをまとめます。よろしくお願いいたします。＜ポケットプログラム＞・フロアプランのページ(日本語版12-13ページ)がわかりにくかった。展示ホールについて、「展示ホール」ではなく「展示場」と記載されていて、フロアの階数情報もなかった。展示ホールD(1階)や2階のアネックスホールで別の催しが開催されていたため、他に「展示場」という建物があるのかと誤認し周辺を歩き回った。→「展示ホールA-C」と正しく記載してほしかった。また、展示ホールの建物入口が2階で、エスカレーターで1階に降りたところに会場入口があることを明記してほしかった。・ポケットプログラムの内容や分量はそのままに、サイズをA4判にしてほしい。＜高校生発表＞・発表前の高校生が休憩エリアを占拠して困った。また、騒いでいても引率教員が注意することもなく、周辺への配慮が不足しているように感じた。・分生年会でのポスター発表を「高校から無理強いされた」と話す生徒もいて、高校生発表の趣旨が理解されているのか若干疑問に感じる場面があった。
※	プログラム冊子のアプリ化はすごく便利に感じた。各セッションの進行度がリアルタイムでわかるようになるとより便利になると思います。ポスター時間については、二時間あると見たいものを全部回れて満足できました。
※	細胞生物学会や発生学会など学会の細分化が進む中で、老舗である分子生物学会の役割をはっきりさせたほうが良いかと思いました。分子生物学会は規模が大きく、ありとあらゆる内容をカバーしているので、このいわば展覧会的側面は強みだと思います。よって発表内容はより広報的に分野外の人にもわかりやすいことを心がけてもらい、現在の日本の生物研究がどういう潮流になっているのか俯瞰できる場になるといいと思いました。研究を職業としている人は、それによって自分の立ち位置を確認することができ、またこれから研究を目指す学生さんたちには、自分に向いているのはどの分野か、探ることができるからです。企業ブースの数がこれだけ多いのも、就職を考える学生さんにとって有益と思いました。
※	ポスター発表に関して、発表時間が短く感じた。
※	途中書きましたが、会場が混みすぎて、スライドの下の方が見えないことが多々ありました。せっかく現地に足を運んだのに、こんなことになるのなら行きたくないです。
※	・展示会場(ポスター会場)付近は夕方混み合うので椅子やテーブルをもっと用意してほしい。・会場のwifi速度を改善してほしい。・要旨にくわえてキーワード・タグがあると興味のあるトピックの講演を探しやすい。・共同研究を促進するために、このゆびとまれの一部の企画のように各人の強みと困りごとをマッチングするような企画があるとういのではないかな？
※	文字は小さくても良いので、全ての発表のプログラム集がほしい。参加費が多少上がっても事前送付にしてほしい。昔のように
※	本年度は、タイムスケジュールがちょうどよく(早朝と夜遅くにならないのは助かりました)、セッションも個人的に興味深いものが多く楽しめました。
※	通常業務を休止してでも学会に参加するわけなので、ポスター時間と全体の会の終了時間を、せめて18時までにしていただきたいです。それから、国際学会気取りで英語使用を推進していますが、ポスター発表や講演を聞くにつけ、なぜ日本でやり、聴講者のほとんどが日本語なのに日本語ではないのかと疑問になります。どうせAIで翻訳が入るのなら、それぞれの母国語ベースで発表できるようになればいいのと思いました。言語の壁は個人の努力でどうにかしろ、という時代ではないと思います。それからポスターも、英語だと翻訳したいのでスマホを向けざるを得ず、そうすると写真を撮っているように見られてしまいとても不快でした。特に分野外の発表は専門用語が英語だとわかりづらいので、そういったところが配慮される仕組みがあると助かります。総じて今回は出会いや実りのない学会になってしまい、とても残念に思いました。
※	WiFiの上限人数が1500なんて賄えるわけがない。もっと増やすべき。アプリは全然使い物にならなかった。農芸化学学会が採用しているアプリのような、マイルスケジュール機能が必要。
※	年会の参加費が高すぎる。分子生物学会として莫大な資産があるが、残していくのは間違っている。年会予算に回して参加費を下げるべき。人口減少でスケールダウンしていくためにも、年会のスケールダウンと学会のスケールダウンを先んじて進めて欲しい。演題発表は学会員に限定するべき。
※	子育て中で、夜の参加が難しいため、聞きたい講演を逃さずに済むように終了時間をもう少し早くしていただけると嬉しいです。
※	新たな試みが多く、非常に良かったです。ただ、連日遅くまで参加をしていたので非常に疲れました。
※	アプリでタイムテーブルが見られたことはとても嬉しかったのですが、会場のWiFiの接続がうまくいかない場面が3日間で何回あったので、来年は改善していただけると参加者の皆様も満足度が上がるのではないかと感じました。
※	来年は生化学会との合同大会ですが、シンポジウムの席数が足りるか心配です。今年も部屋によっては全然座れない・入れないところがあったので、キャパが狭い部屋については別室での中継があるとよいのではないかと感じました。今年も部屋の外に中継モニターがあったのは良かったのですが、歩き疲れている方も多いと思うので、できれば椅子があるスタイルの方が好ましいと思います。
※	休憩場所や展示会会場などでPC電源があるとよいと思いました。以前は電源があり、用意していなかったスライドの説明やデータの検索ができて、便利でした。
※	年会費や参加費もそうですが、やたら若手とか言うのですが、現状が一番苦しい(このようなサポートをあまり受けてこなかった)世代ってどの世代なんでしょうね。学生参加費用がかなり安く、学部学生無料になっていて、その分の負担が一般会員に上乗せされるのはおかしいんじゃないかなと思います(企業からの募金とかで賄っているのならわかりますが)。参加している学会いづれもがそのようなやり方になってきていて負担感がとても大きいです。学生さんがバイトしまくって自由に使っているお金よりも、家庭を支えつつ少ない小遣いで切り盛りしている教員とかの方が苦しんでいる人も多いでしょう。ほぼ、ランチョンのお弁当とスタンプラリーとかだけやりに来ているような学生もいますし。学会参加(発表)は自分の業績にもなるのだから、発表する学生にもそれなりに負担してもらい(交通費・旅費が大学などから出ているのならなおさら)、学部生の無料参加なんてやめた方が良いでしょう。自分が学生の頃は、「学会は、発表しなければ、参加するだけでは意味ない」なんて言われたものでした。
※	ポスター賞などの各受賞者の発表はいつなのでしょう？そこも含めて日程を確定させて発信するほうがいいのかと思います

質問24. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	分子生物学会は参加者が多いので、ワークショップの会場に入りきれないことが多く、演者ごとにセッションを見回すことは不可能に近い。参加人数の予想は難しいとは思いますが、人気になりそうなセッションについてはもう少し会場を広くして、立ち見でなく参加できるようになる方が好ましい。
※	高校生の発表の時間が遅すぎに感じた。理由はわからないが、最終日の19時に終了というのは、疑問が残った。
※	AI翻訳の使い勝手が悪い以外は、他の点はすべて満足しています。
※	ASCOBのシステムのように、ポスターは屋一でした方がよい。癌学会はそうしており、とても良かった。ポスターと企業ブースを交互に配置して、ポスター間の移動の際に企業ブースをまたぐような形が良いと思う。
※	会場のWi-Fiがあまりにもつながらなかった。来年は同じ場所で生化学会との合同で開催であり、より多くの人がかかることが想定されるため、会場に設営のWi-Fiだけでなく、別途ルーターを用意するなどしてほしい。
※	ゆびとま企画は、同じ研究ないようあるいは研究経歴の方とつながり、自身の研究活動を頑張るきっかけになりました。ゆびとま企画は今後も続けてほしいです。
※	デジタルスタンブリーはアプリ仕様が分かりにくかったです。企業の人にもわかってない方が多く、微妙、と思いました(最終日によく使い方が分かりましたが、景品がなくなっていた……おまけと思うので構わないですが。)隣合うポスター間が密着していたので、もう少し余裕があると良かったです。自分の説明中、隣を完全に隠してしまい、そのポスターを見る人には迷惑だろうなと感じました。
※	AI同時通訳サービスを試験的に導入したことは、賛否両論あるだろうが、個人的には支持する。遅かれ早かれ世界はその流れになるだろうから。
※	パシフィコ横浜のwifiが全く機能していなかった。全然繋がらないのでどうにかしてほしい。今回の大会は多くの議論や若手から異分野の交流もあり、実り多い大会でした。特にゆびとまは斬新でし、お酒の試飲も良かったです。分子生物学会が幅広い分野の方が参加する学会なので異分野コミュニケーションの取れる学会を今後もして欲しいです。委員会の皆様お疲れ様でした。
※	もしマッチングイベントをするのでしたら開始時間が早いほうがよかったなと思いました。通いの場合はあまり開始が遅いと参加しにくいです。
※	会場が非常に狭かった。入りきれない部屋が複数ある一方で、閑散とした会場も見受けられた。会場では発表内容をモニターしていたようなので、遠隔で視聴できる場所を用意できるのではないのでしょうか(オンライン開催形式という意味ではなく、会場内のどこかで視聴できる部屋を容易するとか、ホールの一部を利用するとか、の意です)。参加費を払っているのに参加できない部屋があるのは良くないと思う。研究倫理委員会のランチョンに参加したが、パネルディスカッション形式はあまり成立していないと感じた。研究不正に対してもっと糾弾してもよいのではないか、とも感じた。
※	More poster award please!
※	初めて本学会に参加しましたが、雰囲気明るくて大変楽しかったです。研究の原動力は興味に尽きると思います。興味の異なる人が交流できる場は貴重だと思いますので、ぜひ研究分野の多様性・国際化を促進してください。
※	久しぶりにオンサイトで開催、参加となりました。やっぱりみんなで集まる会場は良いです。
※	ポスター審査にたずさわりました。ポスターそのものを審査してください。質疑応答は含めませんということでした。このようにした事情は分かるのですが、ポスターとしては良かったのですが、発表を聞くと、ほぼ全て自分で出したデータでないのですが。。という前置きがついて、質問にもほとんど回答できない方もいました。今回の学会では、PIが必ずしも多く参加している訳でもなく、審査をどうするかは大変難しい問題だと思います。一方で、ポスター賞が大学院生などをエンカレッジすることもできるのは間違いのないです。
※	ポスター発表のカテゴリーを、大まかで構わないので会場内に表示してほしい。広い会場なので、カテゴリーがパッと見てわからないと、必要以上に会場内を練り歩かなければならないので負担になる。
※	分子生物学会は、毎回、細部にわたって本当によく考えられていて、頭が下がります。他の学会には参加できなくても、これだけは絶対に参加したいと思うような、年に1回のとても楽しいイベントです。いつも本当にありがとうございます。
※	一日目と二日目にポスター会場で開催されていた、福井県の酒造による日本酒地酒の試飲会が一番良かったと感じた。酒造の知名度を上げると同時に、日本酒を片手にポスター議論や研究者との交流が活発化でき、これまでにないほど議論が盛り上がった。特に試飲コーナーに集まった研究者同士もシニアから若手まで幅広く、世代間のコミュニケーションも円滑に行うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができたと感じる。ポスター会場での日本酒の試飲は、恒例行事にしても良いかと思う。
※	面白い企画が多くて、どれに参加するか迷った。シニアサイエンティストによるポスター審査は、異分野のポスターに順位を付けるのは大変だったが、明確な審査基準があったので何とか対応できた。プログラムは郵送しなくて良いので、もう少し詳しいものが欲しい。直ぐに見られて、最後まで手元に残るのは冊子だけだと思う。もっとシニアサイエンティストのエネルギーを利用して貰えば良いと思う。
※	オンラインやバーチャルを増やして欲しい。出張としていけない人もいるので。
※	時間割が非常識。改めて欲しい。英語化は流れでしかたないなら、非力な抵抗であるが、反対。別の形での英語の推進を。内容理解が大事。
※	勉強する環境が適切に整備され、稔りある学会参加になりました。ありがとうございました。
※	最終日は帰る人も多いので17-18時頃までに全てのセッションが終わるのが良いと思います。
※	やはり似た領域の生化学会の一か月後というタイミングは、もう少し考えた方がよいと思う。また、大変勉強になる内容で、シンポジウムやポスター発表の中身は問題が無かったが、少しシンポジウム系の数が多過ぎる印象も有った。それと以前からの疑問だが、学会会場のパイプ椅子の座席設定が、ほとんどが5~6席で一組というのがよく解らない。内側に空気が有っても入り難い邪魔になり得る。会場の幅にもよるが、3席ずつにして導線をより確保した方が全体の効率化に寄与するのではないかな。
※	ポスター賞にポスドクが含まれないのが残念だった。次の職もあるので業績にできるような賞もあればいいと思う。
※	「学会年会費は、研究遂行に必要なならば科研費から出していい」と科研費ルールにあるにもかかわらず、所属する大学の規程により年会費は科研費から出せません。参加費は出せます。年会費を安くして、年会参加費を上げていただいた方が、自腹を切る額が減るので、助かります。
※	none

質問24. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者 番号	意見記述
※	企業展示のデジタルスタンプラリー：一つ一つ話を聞きながら頑張って時間をかけて集めたのに、景品がなくなったと言われました。何のための企画なのでしょう。時間をかけた人を冷遇するのはおかしいです。その上許可なくダイレクトメールを送りつけてくる企業が複数あり、解除方法も記載されておりません。こういうのは違法になったのではなかったでしょうか。
※	ポスターには二次元バーコードを付けて発表者不在時間でも動画で説明を視聴できるようにすればよいでしょう。その場合には、動画のファイル形式、時間などいくつか制限を設けたほうがよいでしょう。二次元バーコードのみの貼付は事務局で撤去するなどの措置も必要かもしれません。
※	アンケートの回答は今年度は参加していない関係で、それまでの学会開催様式への参加経験に依って意見を記入しています。
※	ポスター発表の際に質問者が大勢来てくださり、今回参加してとても良かったと感じた。
※	運営ありがとうございました。
※	口頭発表の会場では、人気があるセッションでは座れなかったのが、動画配信で見れるなどの工夫をした方がよい。
※	年会はとても楽しめました。ありがとうございました。名札の大学名と氏名はもっと大きいと遠くからでも見やすいです。
※	会場が広すぎて歩き回るのが大変でしたが、全般にとっても楽しかったです。ありがとうございました。
※	福岡年会アンケートでポスター会場の場所による暗さをお伝えしたものです。本年会で一部のポスターに照明を設置いただき、大変ありがとうございました。ただ、せっかく設置いただいた照明の直下は大変明るかったのですが、光が指向しない部分の暗さがより際立っているようにも見えました。どのような照明がよいのか、引き続き検討いただければ幸いです。
※	人生で初めて学会発表をした場でした。入会等々、戸惑うことも多く不安でしたが、事務局の方をはじめ、とても丁寧にサポートいただき、心強かったです。また、普段関わりが少なく他分野専攻の方々とコミュニケーションをとれた貴重な場もありました。一生忘れない思い出です。開催してくださり、本当にありがとうございました。
※	分子生物学会は、若い参加者や留学生が多いことが印象的でした。そもそも学会に参加することにはどのような目的やメリットがあるのか、というのをはっきり言語化し、それを達成することを意識してもらえるようにすることが必要ではないかと思います。(これまでの日本的なやり方では、そこはぼんやり曖昧で経験する人にゆだねられていた気がします。)私の学会参加の目的は、自分の研究を外の世界とつなげることです。今回はシンポジウムのオーガナイザーのおかげで、この目的が実現し、非常に有意義でした。ありがとうございました。
※	凄く良い大会でした。以下は細かいですが、気になったことです。●パソコンのキーボードを叩くのがうるさい人が一定数居ます。注意喚起してほしいです。●ゴミ箱が少なくトイレのゴミ箱が溢れたりしていました。●狭い部屋は前のスクリーンが見えにくいので、可能な限り上の方にスクリーンを設置してほしいです。(無理とは思いますが。)
※	面白い演題が多すぎるが故に、体ひとつでは全てを追いつけない学会であります。オンラインも組合せることで、より便利に、より楽しみ尽くせる会になると思います。聞けない講演があったり、行けないフォーラムがあったり、マッチング企画にも参加したかった！それでも、やっぱり今年も楽しい年会でした！ありがとうございました！
※	運営ありがとうございました。久しぶりの完全オンサイトの学会はとても良かったです。シンポジウムに、関連した内容のものが同じ時間に開催されているケースがいくつかあり、残念でした。研究者によって関連した内容と判断する基準は異なると思いますので、なかなかむづかしいと思いますが、可能な限り関連した内容のシンポジウムが同じ時間帯に重ならないようにしていただければと思います。
※	ランチョンセミナーの開始時間が遅いと思います。
※	キャリアパスのランチョンセミナーは、なんだかんだいっても勝ち組の人が登壇していたので、アカデミアに残れなかった人とかの意見、状況も盛り込んだほうがよいのでは。あの会場にいた若者が全員アカデミアのPIになれるのでしょうか？
※	以前と比較すると疾患の分子病態を深掘りするセッション・企画が少なくなっている気がします。非ヒト・非哺乳類を用いた疾患の分子病値解析などの企画をお願いします。
※	どうしてもポスターでヒトが来ないものもあるので、どなたかが聞きに来るシステムがあってもよいかと思いました。私はそのようなヒトのところを何箇所も回りました。たくさん良いポスターがありました。テーマが多すぎて、マッチしにくいのかもと思いました。もしかしたら、このへんはキーワードとかを用いて、あなたにすすめるはこのポスターたちみたいなAIによるサジェストや、見に来てくださいと募集アラートみたいなものがあると良いのかもかもしれませんね。
※	ポスター賞の受賞者を早く公開してください
※	大きくなりすぎている。分割すべきか。
※	英語セッションがあっても良いが、日本語セッションを継続していただきたいです。
※	お疲れ様でした。有意義ではあったと思います。ジェンダー比率に関してですが、たとえば、口頭発表登壇者の人選において、現場ではジェンダーとは無関係に趣旨適合性を基準としています。昨今、比率について繰り返し言及されるのは、研究現場ではなく、別のどこかを見て立てられた方策ではないかという疑問を生じさせます。もうそんな時代ではないです。
※	人気のセッションでは会場に入れない方が多くいるように感じました。サテライト会場もしくはWEB配信により、会場のキャパを超えた人数の参加者も講演を聞くことができる体制を作してほしいです。
※	参加型ワークショップのイベントが面白いマッチングイベントが良かった
※	今回、初めてこの学会に参加させて頂きましたが、とても充実した経験得ることが出来ました。普段、あまり馴染み無い分野の研究に触れることが出来ただけでなく、自分の研究との差異や方針について明確に出来ました。研究だけでなく、進路についてや研究の向き合い方についても参考得ることが出来ました。